取扱説明書

Alenti



04.CD.05_19JA • 12/2020

arjo
with people in mind

警告

怪我をしないように、製品を使用する前に必ず本取扱説明書及び付属の文書をよく読んでください。



本取扱説明書を必ずお読み下さい。

意匠方針と著作権
® および ™ は Arjo グループ会社に属する商標です。
© Arjo 2020 年。
当社の方針の一つは継続的改善を掲げているため、当社では事前の通知なしに設計・デザインを変更する権利を留保しています。本マニュアルの内容の全部または一部を Arjo の同意なしに複写することは禁止されています。

目次

はじめに 4
使用目的 5
安全に関する注意事項 6
準備 7
部品名 8
製品の詳細 — 機能 10
　コントロールパネル 10
　ハンドコントロール 10
　位置保持用ハンドル、移動ハンドル、
　ハンドレスト及びハンドルアーム 11
　中央ブレーキ 11
　背もたれ 11
　緊急停止 12
　自動安全スイッチ 12
　緊急 高 / 低 12
　バッテリー充電器 12
付属品の説明 13
　体重計（オプション）....13
　ベッドパンとベッドパンホルダー（オプション）....13
　レッグサポート（オプション）....14
安全ベルト 15
患者の移乗 18
　立位姿勢から 18
　立位姿勢まで 19
　立位補助器から 20
　立位補助器まで 21
　車椅子から 22
　車椅子まで 23
　トイレまで 24
　ベッドから — 座位 24
　ベッドまで — 座 3 位 26
　ベッドから — 側臥位 26
　ベッドまで — 側臥位 28
患者の入浴 30
　浴槽まで 30
　浴槽から 32
クリーニングと消毒の手順 34
バッテリー使用上の注意 37
お手入れと保守・点検 38
トラブルシューティング 42
アラーム 43
技術仕様 44
寸法 46
認証と標準規格リスト 47
Alenti リフトのラベル 48
電磁両立性規格 (EMC) 50
部品とアクセサリ 52

はじめに

ARJO 製品をご購入いただき、ありがとうございます。

Alenti® リフト及びハイジーンチェアは、病院、介護施設、その他のヘルスケアで使用である、高級福祉機器製品シリーズの一つです。

当社はお客様のニーズにお応えすることに専念しており、最高の製品とともに、お客様のスタッフが Arjo 製品から最大のメリットを引き出せるよう、製品トレーニングも提供しております。

Arjo 製品の操作とメンテナンスに関しては、弊社にお問い合わせください。

本*使用方法*を最後までお読みください。

Alenti リフト及び衛生チェアを使用する前に、本*取扱説明書 (IFU)* を必ずお読みください。本*取扱説明書* の内容は、製品の適切な操作とメンテナンスに関し重要であり、製品を保護する上で役に立ち、ご満足いただける形で製品をご利用いただけます。本*取扱説明書* の内容には、安全面で重要な情報も含まれているので、不必要な怪我を避けるためにも一読して理解してください。

承認を受けずに行った Arjo 装置の改造は、安全性を損なう恐れがあります。承認を受けずに行った製品の改造が原因で発生した事故、未遂事故、製品不具合について、Arjo は責任を負いません。

予期しない動作や事故の報告

予期しない動作や事故が発生したときは、最寄りの Arjo 代理店にご連絡ください。連絡先の情報は本*取扱説明書*の最後のページに記載されています。

重大な事故

本医療機器もしくは他の福祉機器に関連して、ユーザまたは患者に影響する重大な事象が発生した場合、ユーザまたは患者は、その事象を医療機器製造元あるいは販売元に必ず報告してください。欧州連合では、ユーザは、重大な事象を居住する加盟国の所轄官庁にも報告してください。

サービスおよびサポート

毎年、Arjo の有資格担当者による *Alenti* リフト の定期点検を実施して、製品の安全性と正常な操作性を確認してください。*38 ページのお手入れと保守・点検* のセクションを参照してください。

詳細については最寄りのアルジョハントレー代理店にお問い合わせの上、長期にわたって製品の安全性、信頼性、価値を最大限に引き出せるように、総合的なサポートとサービスプログラムを受けてください。

交換部品については、最寄りの Arjo 代理店にお問い合わせください。サービス代理店では必要な部品を用意しています。電話番号は*取扱説明書 (IFU)* の最終ページに記載されています。。

補足情報

本*取扱説明書*に付随するクイックガイド / ポスター一式。

クイックガイド / ポスターは本*取扱説明書*の情報に取って代わるものではないことに注意してください。*取扱説明書*には、安全上の大切な補足説明が記載されています。

本*取扱説明書* の定義：

警告

意味：
安全上の警告内容の理解不足であったり、警告に従わなかった場合、他人も含みご自身も怪我をする恐れがあります。

注意

意味：
手順に従わなかった場合、システム全体あるいは一部に不具合が発生する恐れがあります。

注記

意味：
システムまたは製品の正しい使用に関する重要な情報です。



意味：
メーカー名及び住所。

使用目的

本製品はこれらの安全注意事項に従って使用してください。本製品を使用する方は、本*取扱説明書*の手順を必ずお読みになり、理解するようにしてください。

不明点がある場合、Arjo 代理店にお問い合わせください。

本製品は、介護施設において入居者を浴室からあるいは浴室までリフト及び移動することを意図した製品です。*Alenti* は、適切な訓練を受け、介助環境、常識、手順に関する十分な知識があり、操作と*取扱説明書*のガイダンスを順守できる介助者が使用してください。

入居者のアセスメント

それぞれの施設において、定期的に作業評価を行って頂くことをお勧めします。介助者はつぎのような評価基準にしたがって、使用する前に各入居者を評価してください。

- 入居者の体重は安全耐荷重である 182 kg / 400 lbs を超えてはなりません。
- 入居者は活動的または半活動的（すなわち、ベッドやトイレ横の補助具を支えて立位や座位を入居者自身で取れる）の方々が主な対象者です。
- 入居者は、垂直な座位を維持するための指示を理解し、それに対応できる必要があります。

入居者が上記に当てはまらない場合、別のリフト及びハイジーンチェアを使用してください。

想定製品寿命

製品は、上記の目的のためだけに使用してください。

本製品の寿命はおよそ 10 年で、安全ベルトのサービス部品の寿命はおよそ 2 年です。バッテリーの保管期間、使用頻度、充電間隔により、バッテリーのサービス寿命は 2 年から 5 年になることがあります。

記載された想定製品寿命と想定サービス寿命は、本*取扱説明書*に記載するお手入れとメンテナンスが実施されていることを条件としています。

*取扱説明書*に記載する製品寿命の期間中であっても、損耗の状況によっては、キャスターやハンドコントロールなどの製品部品の交換が必要になることがあります。

安全に関する注意事項

警告

使用中に製品が転倒しないように、製品の近くにある他の機器を上げたり下げたりせず、低くするときは固定されたものに気をつけてください。

警告

製品が傾いて、患者が落下するのを防ぐため、排水溝や穴、1:50 (1.15°) を超える勾配があるフロアで製品を使用しないでください。

警告

患者が落下するのを防ぐため、患者の移動、着衣や脱衣を行う前に、製品が最低の位置にあることを常に確認するようにしてください。

警告

爆発や火災を防止するため、酸素濃度の高い環境、熱源や可燃性の麻酔ガスが存在する場所で製品をけっして使用しないでください。

警告

危険な状態に陥ることのないように、移乗中は患者の髪の毛、両腕及び両足を体に密着させて、指定されたサポートを使用するようにしてください。

警告

怪我を防ぐために、絶対に患者を一人にしないでください。

準備

初めて使用するにあたり

(9 ステップ)

1 *Alenti* リフトが運搬による損傷がないかを必ずチェックしてください。

2 製品の部品がすべて揃っているか確認し、本*取扱説明書* の *部品名* のリストに照らし合わせてください。部品に欠損がある場合は、製品を使用しないでください！

3 *取扱説明書* をお読みください。

4 バッテリー充電器を開梱した後、*バッテリー充電器の取扱説明書* に従って設置してください。

5 *38 ページのお手入れと保守・点検* のセクションに従って機能テストを実施します。

6 *34 ページのクリーニングと消毒の手順* のセクションに従って製品を消毒します。

7 *Alenti* リフトを保管するにあたり、乾燥して換気の良い場所を確保してください。

8 *取扱説明書* がいつでも容易に参照できる指定保管場所を選びます。

9 患者の緊急事態に備えて、救急手順をあらかじめ作成してください。

注記
サポートとサービスに関する質問は、最寄りの Arjo 代理店にお問い合わせください。連絡先の電話番号は、本取扱説明書の最終ページを参照してください。

使用するにあたり

(4 ステップ)

1 部品がすべて揃っているかチェックします。本*取扱説明書* の *部品名* のリストに照らし合わせてください。

2 不足あるいは損傷している部品がある場合、製品を使用しないでください。

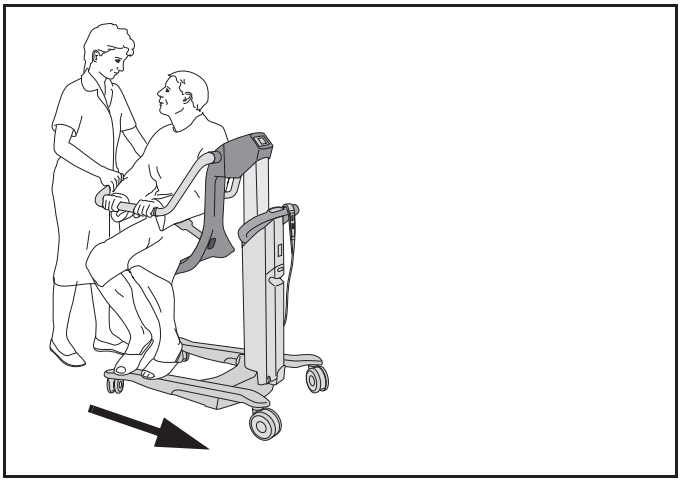
3 **警告**

二次感染を防ぐために、常に本*取扱説明書* の消毒の手順に従ってください。

4 バッテリーが充電されているか確認します。

Alenti リフトの使用方法

移動中の進行方向は、下図に従ってください。



本*取扱説明書* における、製品の *右*、*左*、*前*、*後* は、下に示すとおりです。

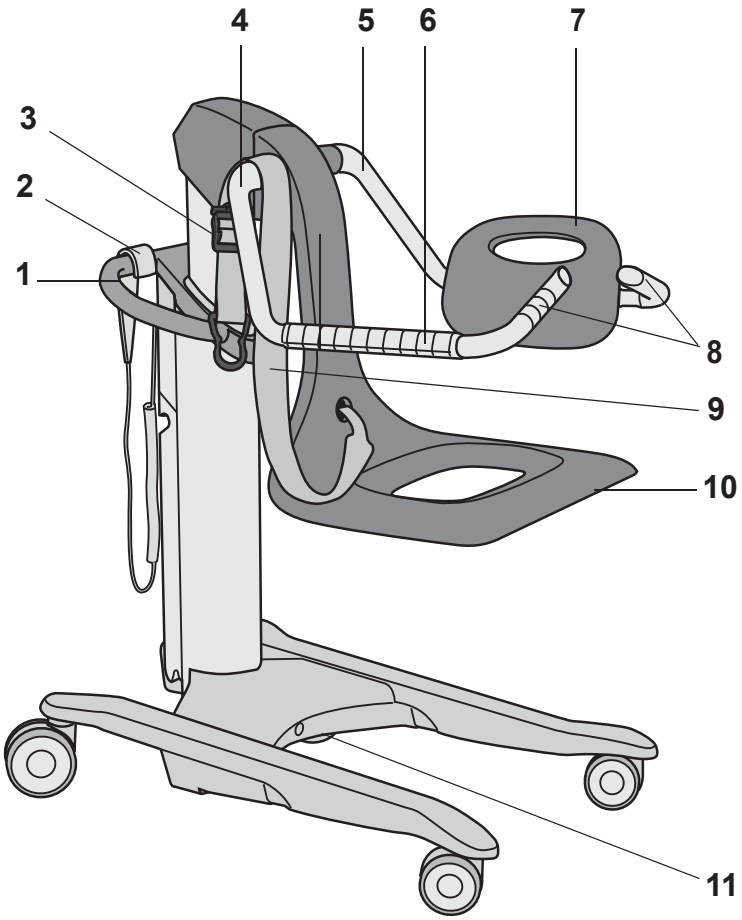


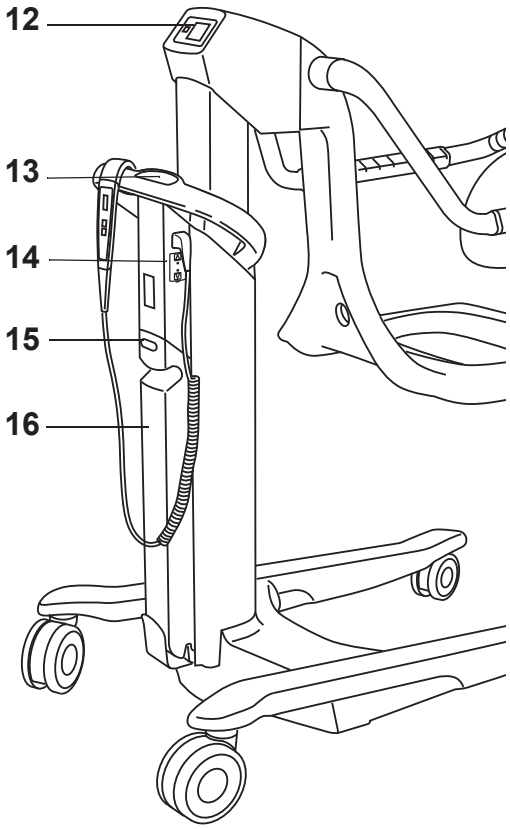
部品名

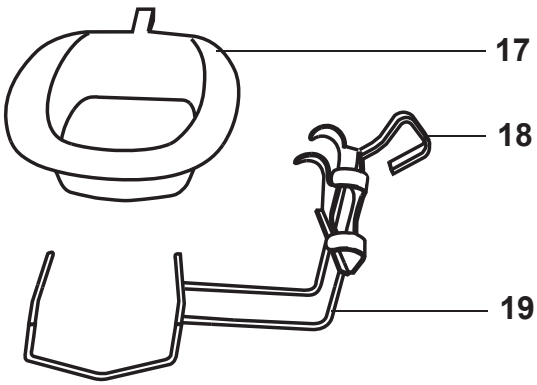
1 位置保持用ハンドル
2 ハンドコントロール
3 リフトピラー
4 ハンドレスト - ハンドルアーム
5 背もたれ — ハンドルアーム
6 ハンドレスト
7 背もたれ
8 移動ハンドル
9 安全ベルト
10 シート
11 中央ブレーキ
12 体重計（オプション）
13 コントロールパネル
14 緊急 高 / 低
15 バッテリーリリースボタン（緊急停止）
16 バッテリー
17 ベッドパン（オプション）
18 ベッドパンホルダーハンドル（オプション）
19 ベッドパンホルダー（オプション）
20 ストラップ付きレッグサポートバー（オプション）

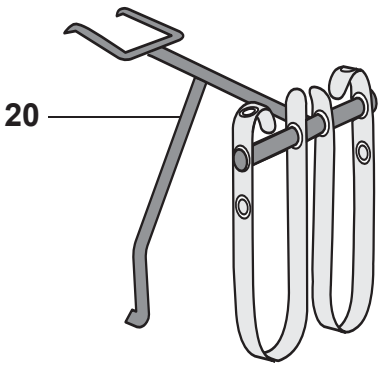
適用部品：タイプ B（全ての装着部品を含むシート）

感電に対する保護はIEC 60601-1に準拠します。


4
5
6
7
3
2
1
8
9
10
11

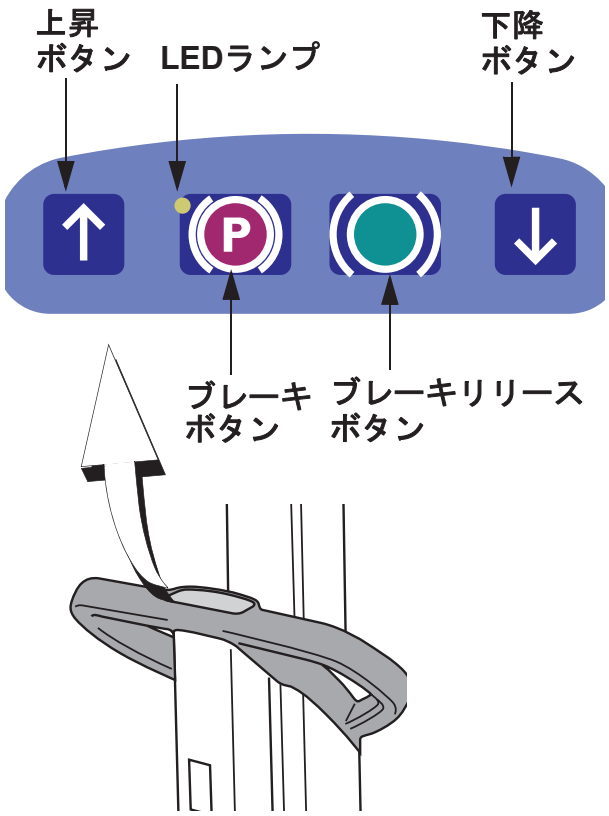

12
13
14
15
16


17
18
19


20

製品の詳細 — 機能

図 1



コントロールパネル

コントロールパネルには4つのコントロールボタンがあります。**（図 1 参照）**

- *Alenti* リフトを上昇させるには、上昇ボタン（up 矢印）を押します。
- *Alenti* リフトを下降させるには、下降ボタン（down 矢印）を押します。
- ブレーキを作動させるには、ブレーキボタン（P と表示されている赤色のボタン）を押します。
  ブレーキが作動すると LED ランプが点滅します。その後 LED ランプは消灯します。
- ブレーキを開放するには、ブレーキリリースボタン（緑色のブレーキ記号）を押します。

ハンドコントロール

ハンドコントロールは一体型フックで、*Alenti* リフトのさまざまな部品の取り付けが簡単になります。**（図 2 参照）**

- ハンドコントロールのフックを外し、手に持ちます。
- *Alenti* リフトを上昇させるには、ハンドコントロール上の上昇（up 矢印）ボタンを押します。
- *Alenti* リフトを下降させるには、ハンドコントロール上の下降（down 矢印）ボタンを押します
- ブレーキを作動させるには、ブレーキボタン（P と表示されている赤色のボタン）を押します。
  ブレーキが作動すると LED ランプが点滅します。その後 LED ランプは消灯します。
- ブレーキを開放するには、ブレーキリリースボタン（緑色のブレーキ記号）を押します。

図 2

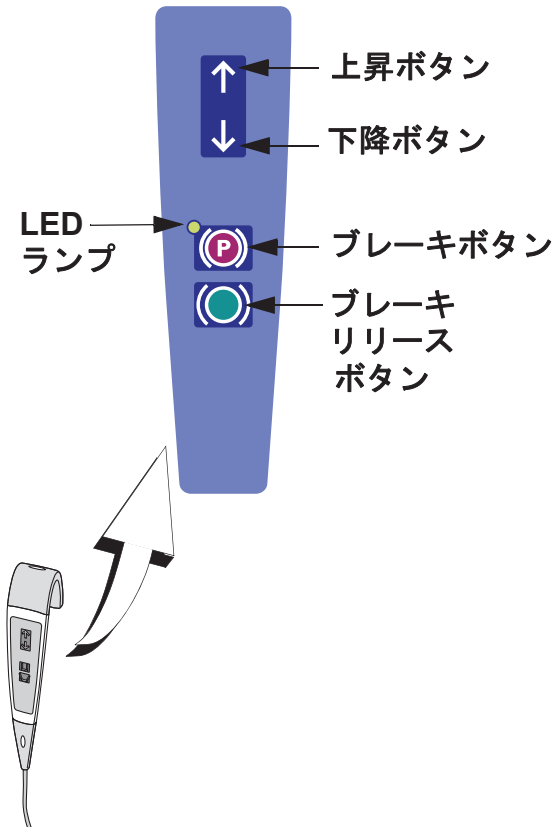
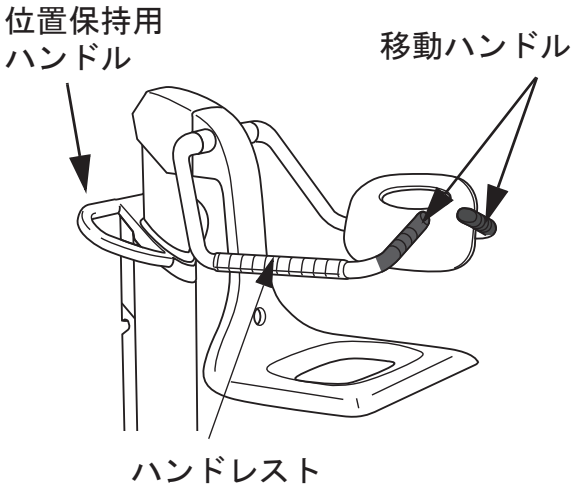


図 1



折りたたみ型ハンドルアーム

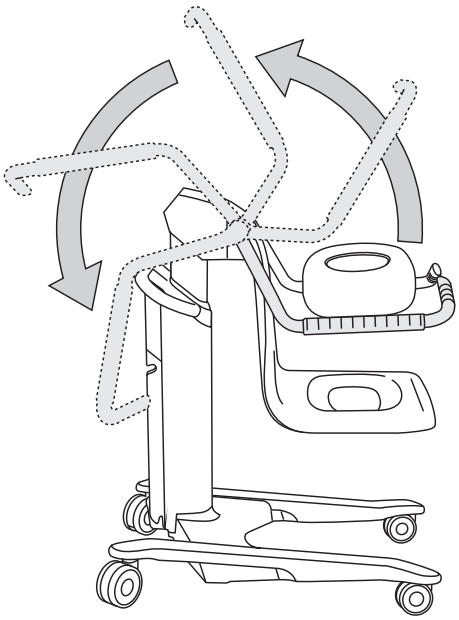
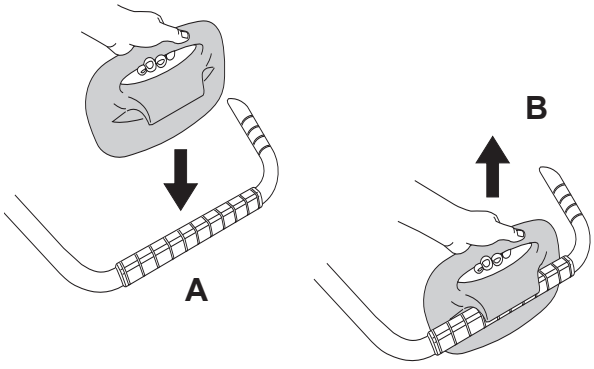


図 2



位置保持用ハンドル、移動ハンドル、ハンドレスト及びハンドルアーム

（図 **1** 参照）

- 浴槽やベッドの近くに *Alenti* リフト を配置するには、位置保持用ハンドルを使用します。
- 移動中は移動ハンドルを使用します。
- ハンドレストは、患者がその両手で掴むためのものです。ハンドレストは背もたれの付属品としても使用されます。
- ハンドルアームは、固定移動や入浴の最中、後方へ折りたたむことが可能です。

中央ブレーキ

ブレーキは2本のシリンダータイプでシャーシの下に付いており、コントロールパネルまたはハンドコントロールから操作できます。

シリンダーが降下してフロアに接触することでブレーキがかかります。

背もたれ

- 背もたれは両方のハンドレストに取り付けることができます。
- 背もたれは、ハンドレスト **(A)** に上から押し込むようにして取り付けます。（図 **2** 参照）
- 背もたれを取り外すときは、上 **(B)** へ引っ張り出します。（図 **2** 参照）

Alenti リフトに患者を乗せる前に：

- バスタブのどちら側に *Alenti* リフトを配置するかを決めてください。
- *Alenti* リフトをバスタブの左側に配置する場合、背もたれは左側のハンドレストに取り付けます。

Alenti リフトをバスタブの右側に配置する場合、背もたれは右側のハンドレストに取り付けます。

図 1

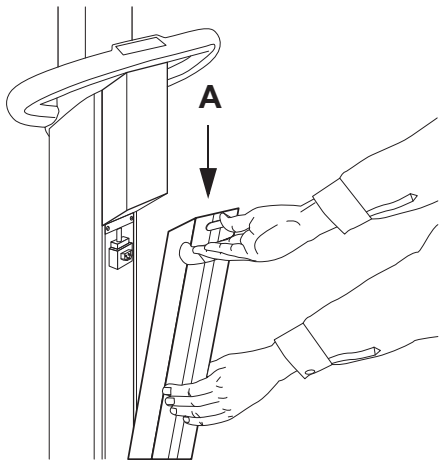


図 2

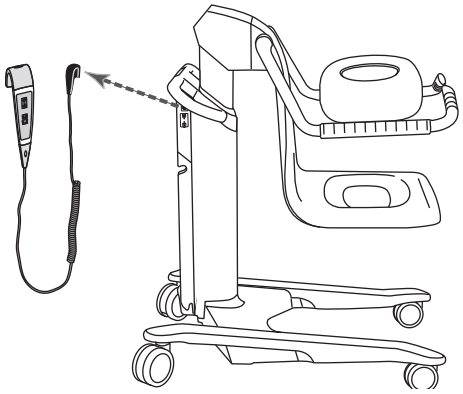


図 3

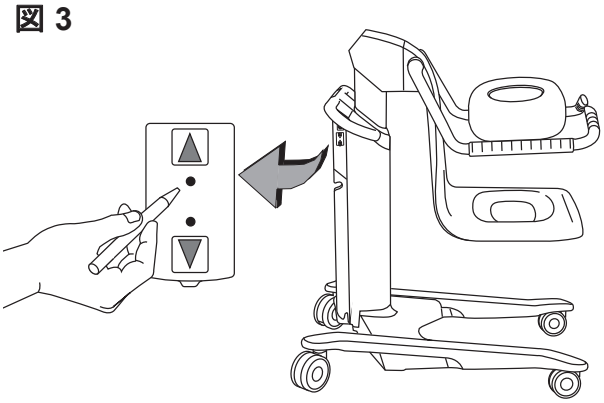
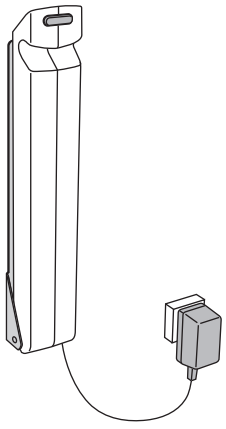


図 4



緊急停止

何らかの理由で *Alenti* リフト がコントロールボタンに反応しない場合、バッテリーリリースボタン **(A)** を押して上昇動作を停止し、バッテリーを抜き取ることができます。**(図 1 参照)**

Alenti リフト再び使用する前に、最寄りの Arjo 代理店にお問い合わせください。

自動安全スイッチ

Alenti リフトと物体の間に挟まれるのを防止するため、*Alenti* リフトは自動安全停止機能を装備しています。*Alenti* リフトは固定物体へ降下すると自動的に停止します。

緊急 高 / 低

(2 ステップ)

何らかの理由 *Alenti* リフトがコントロールボタンに反応しない場合、緊急 高 / 低を用いて *Alenti* リフト を上昇または降下することができます。

1 ハンドコントロールを外します。**(図 2 参照)**

2 先端が尖っていない細い物体 (ペンなど) でパネルの穴の 1 つを押します。**(図 3 参照)**

- *Alenti* リフトを上昇させるには、「up 矢印」の下の穴を押します。
- *Alenti* リフトを降下させるには、「down 矢印」の上の穴を押します

Alenti リフト再び使用する前に、最寄りの Arjo 代理店にお問い合わせください。

注意

先端が尖った物で穴を押さないでください。緊急高 / 低機構が破損する恐れがあります。

注記

緊急高 / 低は、自動安全停止のような重要な安全機能に優先します。

緊急高 / 低は、コントロールパネルとハンドコントロールが制御不能になったときにのみ使用してください。

注記

緊急「上昇」及び「下降」の間、ビープ音が鳴り続けます。

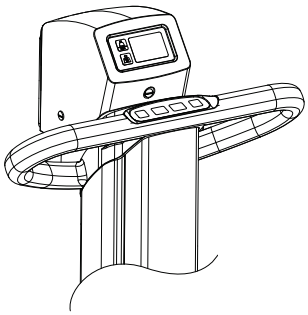
バッテリー充電器

適切な壁に充電器 を取り付けた後、そのプラグを壁のコンセントに差し込みます。**(図 4 を参照)**

充電器の設置については、バッテリー充電器の取扱説明書をご覧ください。

付属品の説明

図 1



体重計（オプション）

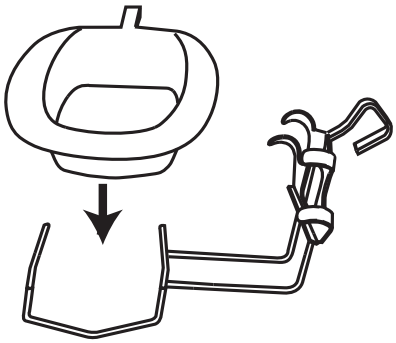
体重計は*Alenti* リフトピラーに付いています。**(図 1を参照)**

利用できる際に体重計を使用するには、体重計の *IFU* を参照してください。

ベッドパンとベッドパンホルダー（オプション）

(3 ステップ)

図 2

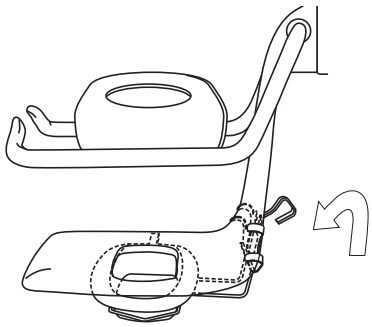


警告

性器が挟まったりしないように、浴槽の縁やトイレ、ベッドパン、その他家具類の上を移乗する際に十分な隙間があることを確認してください。

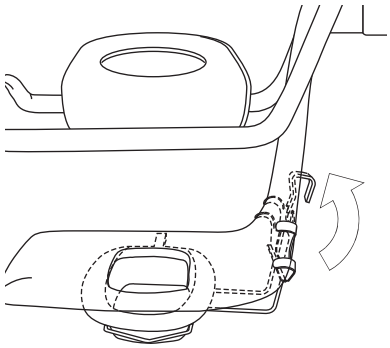
1 ベッドパンをホルダーに取り付けます。
(図 2 を参照)

図 3



2 ベッドパンホルダーは*Alenti* リフトのシートの後部に取り付けます。**(図 3 を参照)**

図 4



3 ベッドパンハンドルをロック位置にたたみこみます。
(図 4 を参照)

図 1

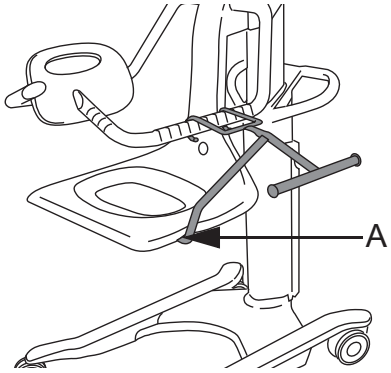


図 2

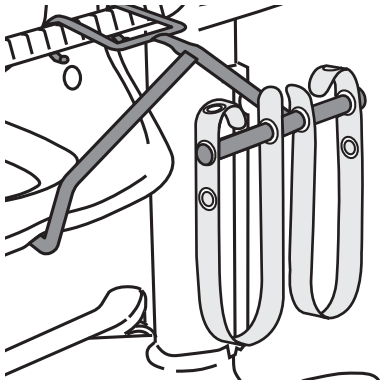
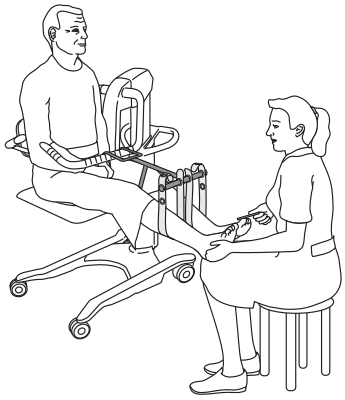


図 3



レッグサポート（オプション）

レッグサポートは、介助者が *Alenti* リフトに座っている患者にフットケアを行う際、介助サポートが可能です。

- レッグサポートをハンドレストに、そのバーを患者の脚の間になるようシートの下のフラットリム **(A)** に取り付けます。**（図 1 を参照）**
- 図に従って、ストラッププラスチックファスナーをバーに取り付けます。**（図 2 を参照）**
- *Alenti* リフトに座っている患者に対するフットケアは *Alenti* リフトが低位置にある状態で実施しなければなりません。
- 腰痛を防止するために、介助者は座ってフットケアを行うことを推奨します。**（図 3 を参照）**
- 脚の高さは、レッグサポートバーに取り付けられているストラップの穴を使って調整できます。

ストラップを調整する際は、

- 患者の脚が座っている介助者に対して人間工学的に適した高さにあり、
- 患者が快適であることを確認してください。

安全ベルト

安全ベルト

（14 ステップ）

常に安全ベルトを使用してください。

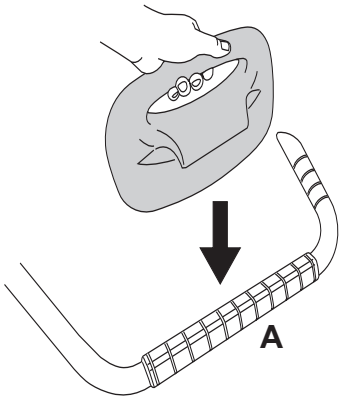
患者が浴槽内で安全な位置にある間、もしくは *Alenti* リフトに対して、及び同リフトから固定移動している間は、例外が認められます。

安全ベルトは、患者がシート上で正しい姿勢を維持するのを助けます。

使用前に必ず安全ベルトを検査して、ネジの緩み、裂け、その他の不具合がなく、良好な状態にあることを確認してください。

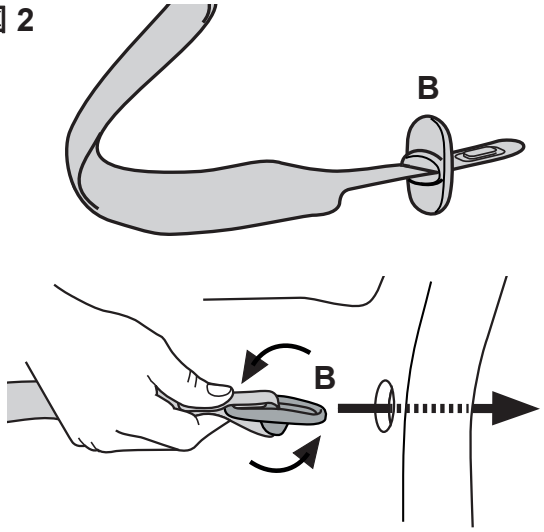
患者を *Alenti* リフトに座らせる前に必ず安全ベルトを取り付けます。

図 1



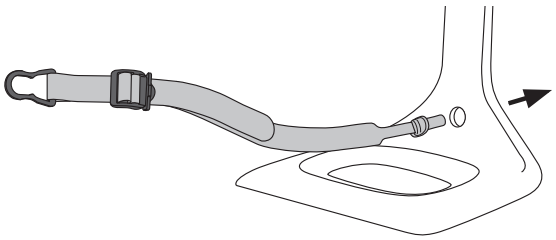
1　背もたれは、ハンドレスト **(A)** に上から押し込むようにして取り付けます。**（図 1 参照）**

図 2



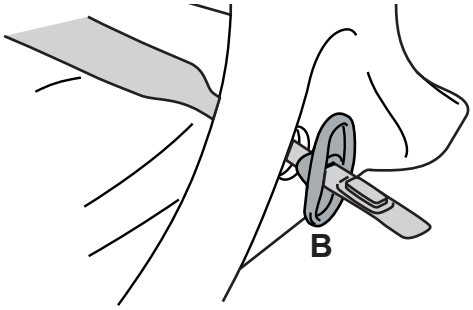
2　安全ベルト用ストッププレート **(B)** を回転して、プレート全体を安全ベルトに接触させます。**（図 2 参照）**

図 3



3　安全ベルトの先端をシートの穴に通します。**（図 3 参照）**

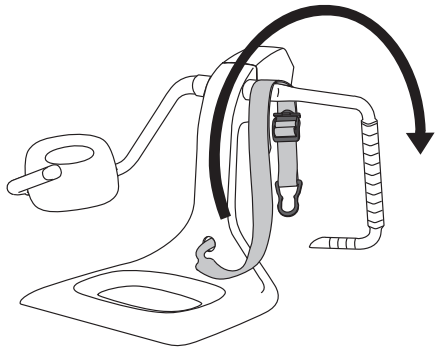
図 4



4　安全ベルト用ストッププレート **(B)** は、シートの背面にセルフロックして、安全ベルトがシートから緩まないよう防止します。**（図 4 参照）**

次のページへ

図 5



5 ハンドレスト - ハンドルアームを後方にたたみます。**（図 5 参照）**

6 ハンドレスト - ハンドルアームの上部にベルトをかけます。**（図 5 参照）**

図 6

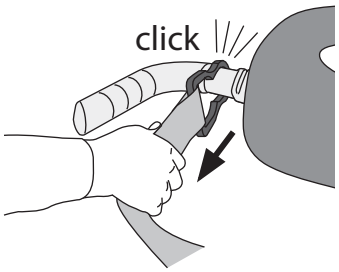


7 患者をシートに座らせて、ハンドレスト - ハンドルアームを患者の前に来るようセットします。**（図 6 参照）**

8 患者の両手はハンドレストの上に置くようにしてください。**（図 6 参照）**

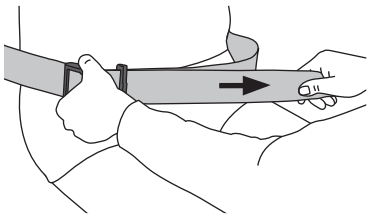
9 安全ベルトを患者の腰に装着します。**（図 6 参照）**

図 7



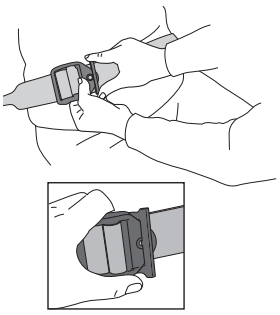
10 安全ベルトクリップを背もたれ付近のハンドルアームに取り付けます。**（図 7 参照）**

図 8



11 患者の体が固定されるよう安全ベルトを適度に締めてください。**（図 8 参照）**

図 9



12 安全ベルトをロックプレートでロックし、ベルトストラップがバックル部で緩まないようにします。**（図 9 参照）**

次のページへ

図 10

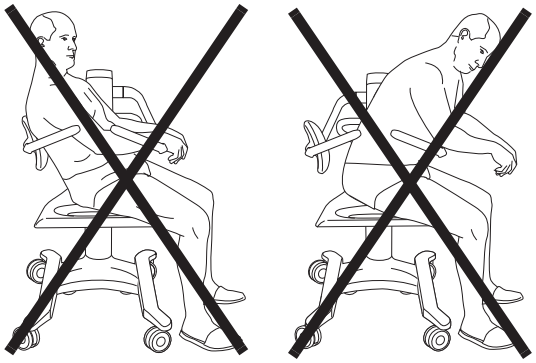
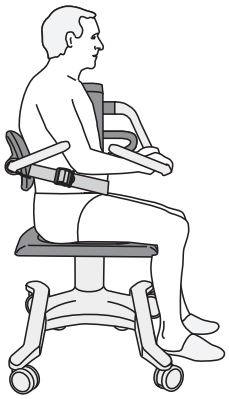


図 11



13 **警告**

落下を防止するために、患者が正しい位置に座っていて、なおかつ安全ベルトが患者の体を適切に固定していることを確認してください。

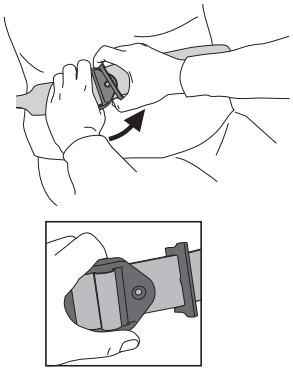
警告

患者が装置から落下するのを防止するために、移動の間アームレストが患者の前にセットされていることを確認してください。

患者がシートの中央にきちんと座っていることを確認してください：

- 臀部がシートの後ろにある。
- 背中が背もたれでサポートされている。
- 両手をハンドレストに置いている。
  （図 **10** と **11** を参照）

図 12

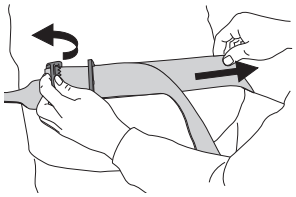


14 安全ベルトを緩める際は、ロックプレートを解除してベルトストラップを緩めます。
（図 **12** と **13** を参照）

注記
安全ベルトを使用しないときは、安全ベルトのフックをハンドレスト - ハンドルアームの上部にかけておきます。

安全ベルトがフロアに接触していないことを確認してください。

図 13



患者の移乗

警告

危険な状態に陥ることのないように、移乗中は患者の髪の毛、両腕及び両足を体に密着させて、指定されたサポートを使用するようにしてください。

警告

落下を防止するために、患者が正しい位置に座っていて、なおかつ安全ベルトが患者の体を適切に固定していることを確認してください。

警告

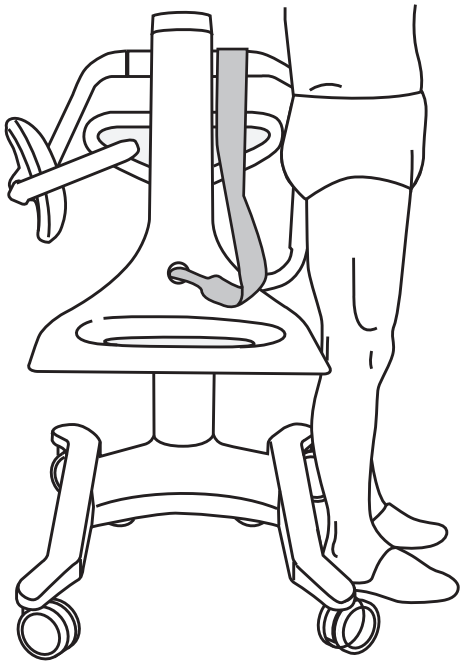
患者が装置から落下するのを防止するために、移動の間アームレストが患者の前にセットされていることを確認してください。

患者を *Alenti* リフトに移乗させる**前に**、以下を確認してください：

- 背もたれが *Alenti* リフトの正しい側に取り付けられている。
- 安全ベルトが *Alenti* リフトに付いている。
- 患者が下着以外の衣服を身に着けていない。バスローブを使用する場合は、前から後方へ包みこむよう装着（合わせ部分を患者の背中に近づける）して、
- 患者が正しい姿勢で座っていること。

使用**後**は、二次感染を防ぐために *Alenti* リフトを消毒してください。*34 ページのクリーニングと消毒の手順* のセクションを参照してください。

図 1



立位姿勢から

（11 ステップ）

1 *Alenti* リフトのブレーキを作動させて、ブレーキがロックされていることを確認してください。

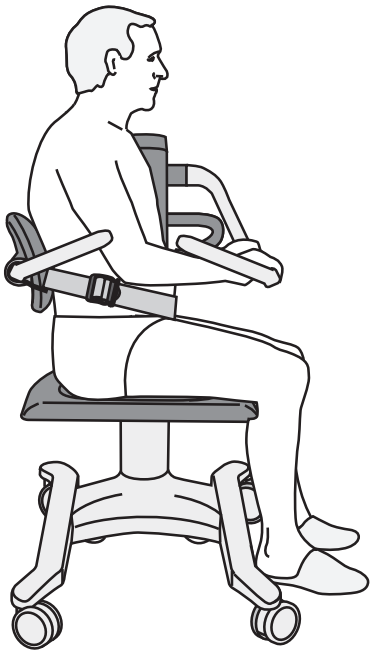
2 ハンドレスト - ハンドルアームを後方へたたんでください。

3 シートの高さが患者の膝の後ろと同じになるよう、*Alenti* リフトの高さを調整します。**（図 1 参照）**

4 膝の後にシャーシが優しく触れるまで、患者を *Alenti* リフトまでバックさせます。

次のページへ

図 2



5 患者が座れるよう介助します。

6 患者が両手で握ることができるよう、ハンドレスト - ハンドルアームを前へセットします。

7 患者がシートの中央にきちんと座っていることを確認してください：

- 臀部がシートの後ろにある。
- 背中が背もたれでサポートされている。
- 両手をハンドレストに置いている。**（図 2 参照）**

8 患者を安全ベルトで固定してください。**（図 2 参照）**

9 **警告**

患者が落下するのを防ぐため、患者の移動、着衣や脱衣を行う前に、製品が最低の位置にあることを常に確認するようにしてください。

介助者にとって人間工学的作業高さでしかも患者の移動に安全な高さになるよう *Alenti* リフトを調節します。

10 ブレーキを解放します。

11 移動ハンドルを用いて、患者と *Alenti* リフトを浴槽まで移動します。

立位姿勢まで

（4 ステップ）

1 患者の足がフロアに着くまで、*Alenti* リフトを降下させます。

2 *Alenti* リフトのブレーキを作動させて、ブレーキがロックされていることを確認してください。

3 ハンドレスト - ハンドルアームを後方へたたんで、患者から離してください。

4 安全ベルトを緩めた後、ベルトをハンドレスト - ハンドルアームの上部にかけます。次に患者が立ち上がれるよう介助します。

図 3



立位補助器から

（14 ステップ）

Arjo は、*Alenti* リフトと共に使用できる、立位補助具を提供しています。その名称は *Sara 3000* 及び *Sara Plus* です。

1 *Alenti* リフト のハンドレスト - ハンドルアームを後方にたたみます。

2 患者を載せている立位補助器を*Alenti*リフト シートの前に配置します。

3 患者の背中が *Alenti* リフト シートに相対するようにして、*Alenti* リフトを立位補助器にできる限り近づけます。**（図 3 参照）**

4 *Alenti*リフトのブレーキを作動させて､ブレーキがロックされていることを確認してください。

5 患者が*Alenti*リフト シートに座るまで患者を降ろします。**（図 3 参照）**

6 スリングのフックを外します。

7 患者が握れるよう、*Alenti* リフトのハンドレスト - ハンドルアームを前にセットします。

8 患者の足が立位補助器から自由になるまで、*Alenti* リフトを上昇させます。

9 患者からスリングを取り外してください。

10 **警告**

落下を防止するために、患者が正しい位置に座っていて、なおかつ安全ベルトが患者の体を適切に固定していることを確認してください。

警告

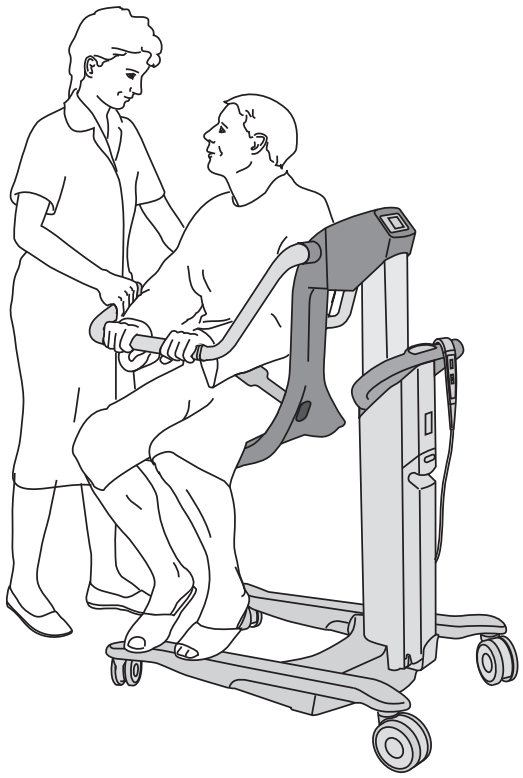
患者が装置から落下するのを防止するために、移動の間アームレストが患者の前にセットされていることを確認してください。

患者がシートの中央にきちんと座っていることを確認してください：

- 臀部がシートの後ろにある。
- 背中が背もたれでサポートされている。
- 両手をハンドレストに置いている。

次のページへ

図 4



11 患者を安全ベルトで固定してください。

12 立位補助器を取り除きます。

13 **警告**

患者が落下するのを防ぐため、患者の移動、着衣や脱衣を行う前に、製品が最低の位置にあることを常に確認するようにしてください。

介助者にとって人間工学的作業高さでしかも患者の移動に安全な高さになるよう *Alenti* リフトを調節します。**（図 4 参照）**

14 *Alenti* リフトのブレーキを解放します。

立位補助器まで

（11 ステップ）

1 *Alenti* リフトを降下させます。

2 患者を立位補助器に向かせます。

3 *Alenti* リフトのブレーキをロック解除したままにします。

4 立位補助器のブレーキを作動させます。

5 *Alenti* リフト のハンドレスト - ハンドルアームを後方へたたんで、患者から遠ざけます。

6 患者の足を立位補助器のフットサポートに置きます。

7 安全ベルトを外して、ハンドレスト - ハンドルアームの上部にかけます。

8 患者にスリングをあてがいます。

9 スリングを立位補助器に取り付けます。

10 立位及び上昇エイドを慎重に上昇させます。

11 立位補助器のブレーキを解放して、立位補助器と患者をゆっくり移動し、*Alenti* リフトから遠ざけます。

車椅子から

（10 ステップ）

Alenti リフトは、ほとんどの車椅子の一般的モデルに適合します。

患者が車椅子と *Alenti* リフト間で移乗できるようにするには、患者が自分自身で横向きに移動したり、立ち上がったりするのに十分な体力を持っている必要があります。**（図 5 参照）**

図 5



警告

移乗中に落下するのを防ぐために、使用中の機器すべてのブレーキをかけるようにしてください。

1 車椅子のブレーキをかけます。

2 *Alenti* リフトのハンドレスト - ハンドルアームを後方にたたんでください。

3 車椅子のシートよりも低くなるよう、*Alenti* リフトのシートを位置調整及び降下させます。**（図 5 参照）**

4 *Alenti* リフトのブレーキを作動させて、ブレーキがロックされていることを 確認してください。

5 この時点で患者は車椅子から *Alenti* リフトにご自身で移乗できます。

6 患者が握れるよう、*Alenti* リフト のハンドレスト - ハンドルアームを前にセットします。

7 **警告**

落下を防止するために、患者が正しい位置に座っていて、なおかつ安全ベルトが患者の体を適切に固定していることを確認してください。

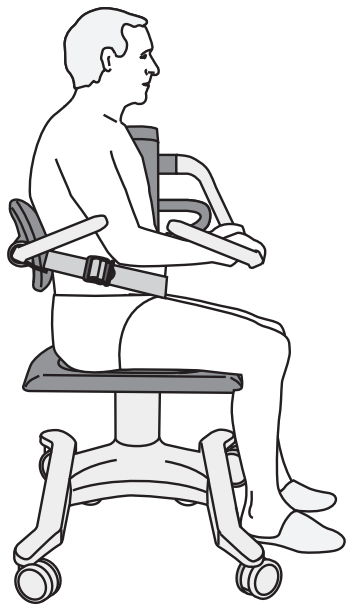
警告

患者が装置から落下するのを防止するために、移動の間アームレストが患者の前にセットされていることを確認してください。

患者がシートの中央にきちんと座っていることを確認してください：

- 臀部がシートの後ろにある。
- 背中が背もたれでサポートされている。
- 両手をハンドレストに置いている。**（図 6 参照）**

図 6



次のページへ

8 **警告**

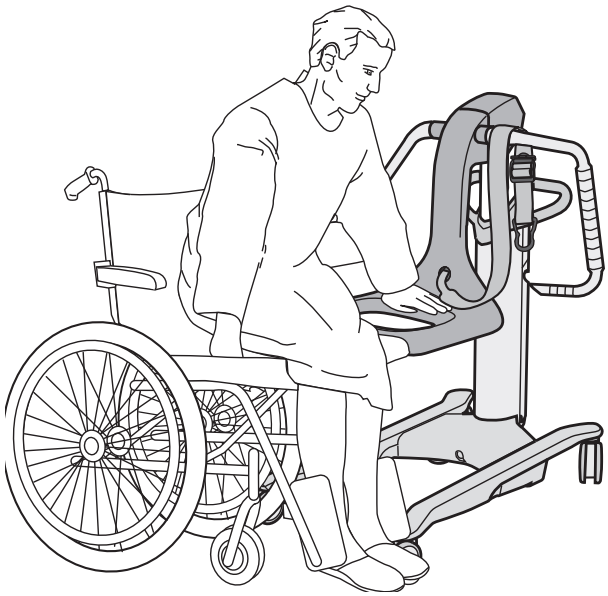
患者が落下するのを防ぐため、患者の移動、着衣や脱衣を行う前に、製品が最低の位置にあることを常に確認するようにしてください。

患者を安全ベルトで固定してください。

9 介助者にとって人間工学的作業高さでしかも患者の移動に安全な高さになるよう *Alenti* リフトを調節します。

10 *Alenti* リフトのブレーキを解放します。

図 7



車椅子まで

（6 ステップ）

1 *Alenti* リフトの正面が車椅子の側面を向くようリフトを配置します。**（図 7 参照）**

2 患者が移乗できるよう *Alenti* リフトを適切な高さに調整します。場合によっては、*Alenti* リフトのシートが車椅子よりも高い方が移乗しやすくなります。

3 *Alenti* リフトと車椅子の両方のブレーキを作動させます。

4 安全ベルトを外して、ハンドレスト - ハンドルアームの上部にかけてください。

5 ハンドレスト - ハンドルアームを後方へたたんで、患者から離してください。

6 この時点で患者は *Alenti* リフトから車椅子に移乗できます。**（図 7 参照）**

トイレまで

(3 ステップ)

図 8



警告

性器が挟まったりしないように、浴槽の縁やトイレ、ベッドパン、その他家具類の上を移乗する際に十分な隙間があることを確認してください。

Alenti リフトは、トイレが壁や床に取り付けられているかどうかに関わらず使用できます。**(図 8 参照)**

1 *Alenti* リフトの正面 をトイレの便器の上に配置します。**(図 9 参照)**

図 9



2 *Alenti* リフトのシートを降下させて、ブレーキをかけます。

3 使用後は *Alenti* リフトを消毒して、二次感染を防止します。**(図 10 参照)**
38 ページのお手入れと保守・点検 のセクションを参照してください。

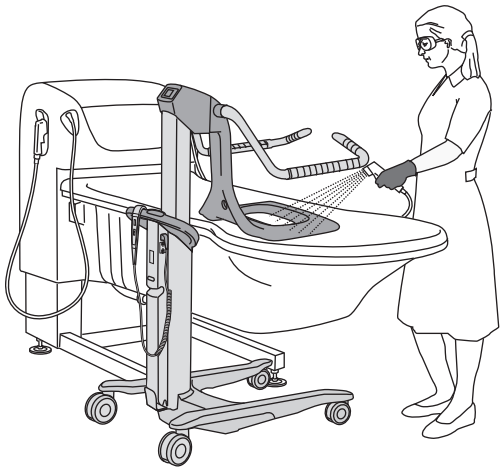
ベッドから ― 座位

(11 ステップ)

Alenti リフトは、150 mm (5 7/8”) のスペースを有する一般的な病院用ベッドのほとんどに適合します。

患者がベッドと *Alenti* リフト間で移乗できるようにするには、患者が自分自身で横向きに移動したり、立ち上がったりするのに十分な体力を持っている必要があります。

図 10



警告

移乗中に落下するのを防ぐために、使用中の機器すべてのブレーキをかけるようにしてください。

1 ベッドのホイールブレーキがロック位置にあることを確認してください。

2 患者をベッドサイドで端座位姿勢にしてください。

3 *Alenti* リフト のハンドレスト - ハンドルアームを後方へたたんで、患者から離してください。

次のページへ

図 11

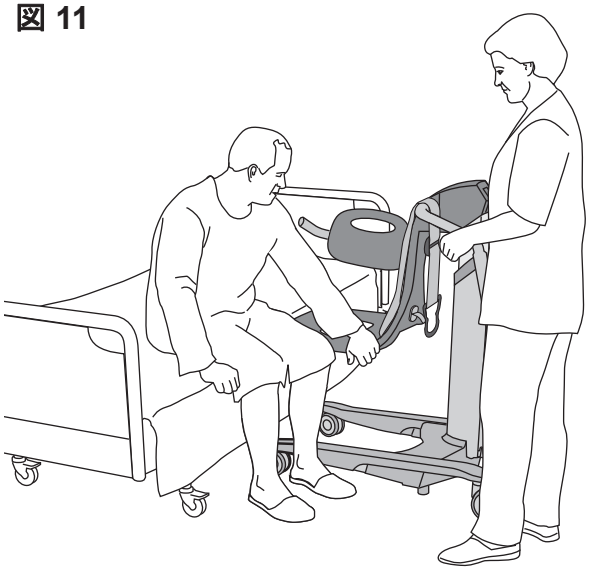
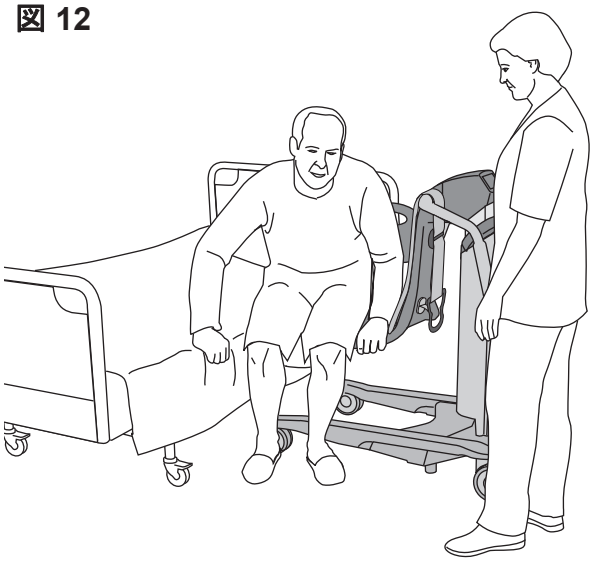


図 12



4 *Alenti* リフトの正面がベッドの側面を向いて、*Alenti* リフトのシートがベッドよりも低くなるようにリフトを配置します。**（図 11 参照）**

5 *Alenti* リフトのブレーキを作動させて、ロックされていることを確認してください。

6 患者自身でベッドから *Alenti* リフトに移乗させてください。**（図 12 参照）**

7 患者が両手で握ることができるよう、ハンドレスト - ハンドルアームを前へセットしてください。

8 **警告**

落下を防止するために、患者が正しい位置に座っていて、なおかつ安全ベルトが患者の体を適切に固定していることを確認してください。

警告

患者が装置から落下するのを防止するために、移動の間アームレストが患者の前にセットされていることを確認してください。

患者がシートの中央にきちんと座っていることを確認してください：

- 臀部がシートの後ろにある。
- 背中が背もたれでサポートされている。
- 両手をハンドレストに置いている。

9 患者を安全ベルトで固定してください。

10 *Alenti* リフトの ブレーキを開放して、*Alenti* リフト をベッドから遠ざけるように移乗してください。

11 **警告**

患者が落下するのを防ぐため、患者の移動、着衣や脱衣を行う前に、製品が最低の位置にあることを常に確認するようにしてください。

介助者にとって人間工学的作業高さでしかも患者の移動に安全な高さになるよう *Alenti* リフトを調節してください。

図 13

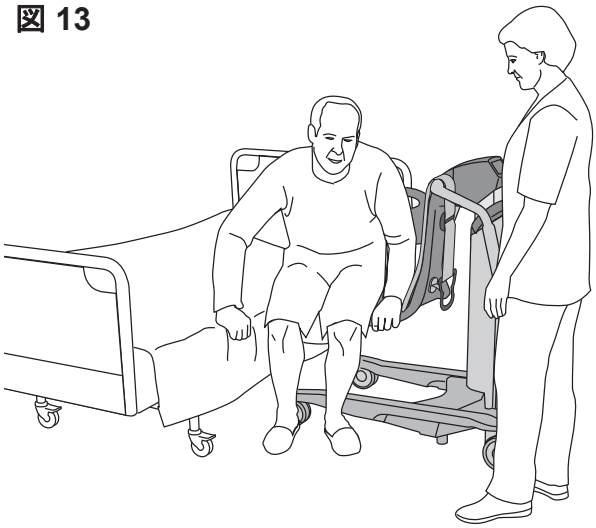


図 14

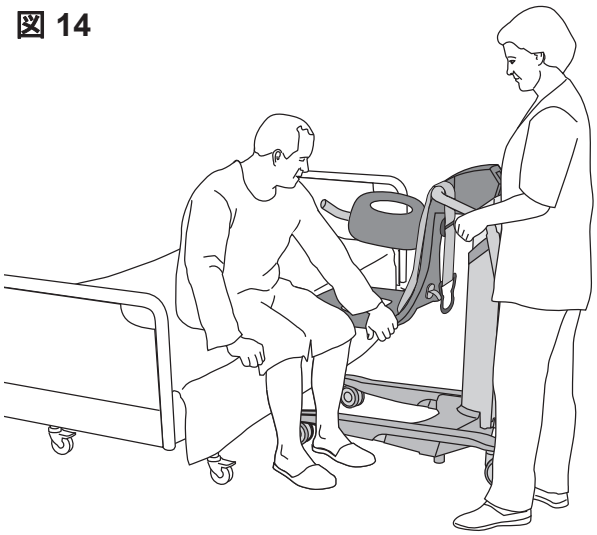


図 15



ベッドまで — 座位

（8 ステップ）

1 患者が移乗できるよう*Alenti*リフトを適切な高さに調整します。場合によっては、*Alenti* リフトのシートがベッドよりもやや高い方が移乗しやすくなります。

2 リフトの正面がベッドのサイドに向くように、*Alenti* リフトを配置してください。**（図 13 参照）**

3 *Alenti* リフトのブレーキを作動させて、ロックされていることを確認してください。

4 ベッドのホイールブレーキをかけます。

5 安全ベルトを外して、ハンドレスト - ハンドルアームの上部にかけてください。

6 ハンドレスト - ハンドルアームを後方へたたんで、患者から離してください。

7 患者に自分自身で*Alenti*リフトからベッドに移乗させてください。**（図 14 参照）**

8 *Alenti* リフトを移動する前に、患者がベッドのサイドにきちんと座っていることを確認してください。

ベッドから — 側臥位

（19 ステップ）

Alenti リフトは、150 mm (5 7/8”) のスペースを有する一般的な病院用ベッドのほとんどに適合します。

警告

移乗中に落下するのを防ぐために、使用中の機器すべてのブレーキをかけるようにしてください。

1 ベッドのホイールブレーキをかけます。

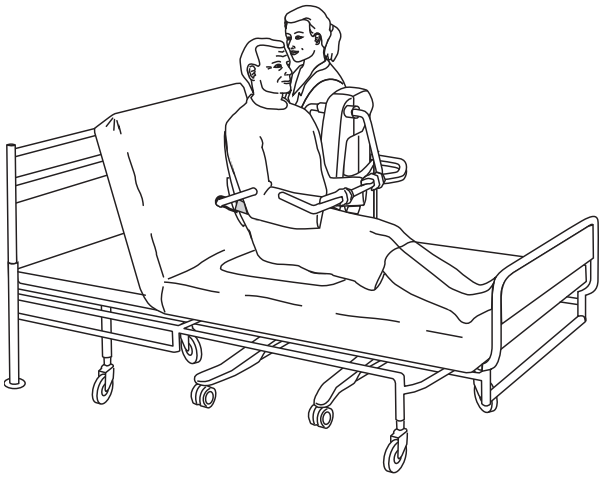
2 ベッドレールを降ろして、患者を *Alenti* リフトの反対方向に向かせてください。**（図 15 参照）**

3 両方のハンドルアームを後方へたたんで、*Alenti* リフトシートの上のスペースを空けてください。

4 *Alenti*リフトの 正面をベッドの上に来るよう配置します。これにより *Alenti* リフト シートはベッドの上部に位置し、患者にできる限り近づけてください。
（図 15 参照）

次のページへ

図 16



5 ベッドをしっかりと押すよう、シートを降下させてください。

6 *Alenti* リフトのブレーキを作動させて、ロックされていることを確認してください。

7 患者を仰向けにして、彼または彼女がシートの正しい位置にいることを確認してください。

8 患者が両手で握ることができるよう、ハンドレスト - ハンドルアームを前へセットしてください。

9 手であるいはベッドの背もたれを起こすことで、患者が直立に座れるよう介助してください。**（図 16 参照）**

10 患者の姿勢を前方に傾けてください。

11 患者の背中をサポートするよう、ハンドレスト - ハンドルアームを前へセットしてください。

12

警告

落下を防止するために、患者が正しい位置に座っていて、なおかつ安全ベルトが患者の体を適切に固定していることを確認してください。

警告

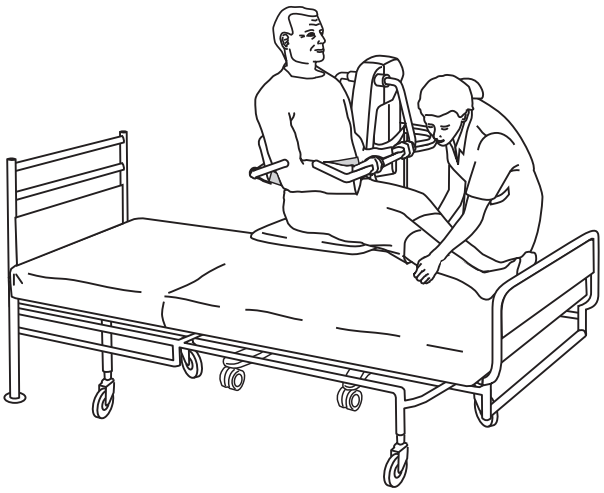
患者が装置から落下するのを防止するために、移動の間アームレストが患者の前にセットされていることを確認してください。

患者がシートの中央にきちんと座っていることを確認してください：

- 臀部がシートの後ろにある。
- 背中が背もたれでサポートされている。
- 両手をハンドレストに置いている。

次のページへ

図 17



13 患者を安全ベルトで固定してください。

14 *Alenti* リフトをベッドから移動するのに十分な高さまで *Alenti* リフトのシートを上昇させてください。

15 *Alenti* リフトのブレーキを解放します。

16 患者の足を支えながら、*Alenti* リフトをベッドから引いて離してください。**(図 17 参照)**

17 *Alenti* リフトがベッドやその他の装置よりも完全に上にあることを確認してください。

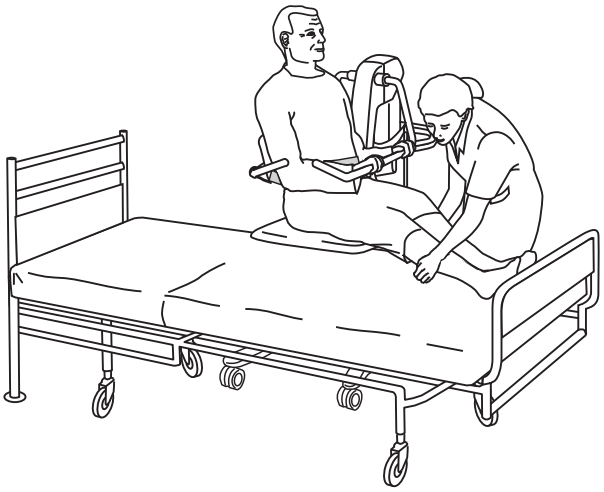
18 介助者にとって人間工学的作業高さでしかも患者の移動に安全な高さになるよう *Alenti* リフトを調節します。

19 **警告**

患者が落下するのを防ぐため、患者の移動、着衣や脱衣を行う前に、製品が最低の位置にあることを常に確認するようにしてください。

患者には常に両手でハンドレストを握らせてください。

図 18



ベッドまで — 側臥位

(19 ステップ)

警告

移乗中に落下するのを防ぐために、使用中の機器すべてのブレーキをかけるようにしてください。

1 ベッドレールを降ろして、ベッドのホイールブレーキをかけてください。

2 浴室から出てきている場合、ベッドの上にタオルを置いて、*Alenti* リフトによってベッドが濡れないように注意してください。

3 シート及び性器がベッドよりも上になるまで *Alenti* リフトの高さを調整してください。

4 *Alenti* リフトの前面をベッドの上まで移動して、患者の脚を抱えてベッドに降ろしてください。
(図 18 参照)

5 *Alenti* リフトのブレーキを作動させて、ロックされていることを確認してください。

次のページへ

図 19

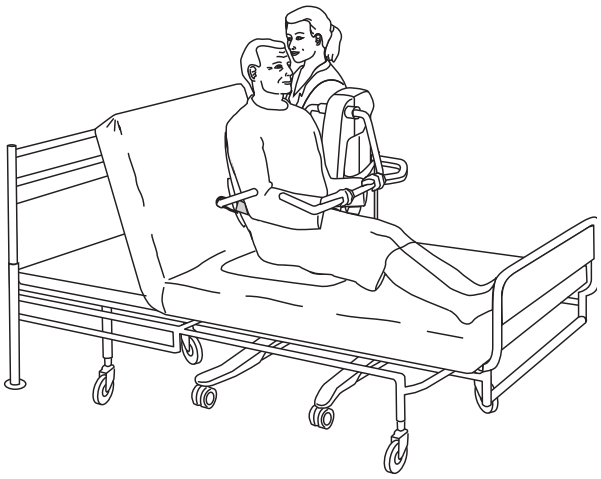


図 20



6

警告

性器が挟まったりしないように、浴槽の縁やトイレ、ベッドパン、その他家具類の上を移乗する際に十分な隙間があることを確認してください。

シートがベッドをしっかりと押さえるよう、*Alenti* リフトを降下させてください。**体の部分がシートとベッドに挟まらないよう注意してください。**

7 必要に応じて、患者の背中をサポートするためベッドの先端を起こしてください。**（図 19 参照）**

8 安全ベルトを外して、ハンドレスト - ハンドルアームの上部にかけてください。

9 患者の姿勢を前方に傾けて、患者の手を運転ハンドル上に置いてください。

10 バックレスト - ハンドルアームを後方へたたみ、患者から遠ざけてください。

11 上体を反らせてベッドへ横になれるよう患者を介助してください。

12 ハンドレスト - ハンドルアームを後方へたたんでください。

13 ベッドの先端が起こしてある場合、元に戻してください。

14 患者を *Alenti* リフトとそのシートの反対方向へ向かせる前に、患者が水平に横臥していることを確認してください。**（図 20 参照）**

15 *Alenti* リフトシートを上昇させて、ベッドから離してください。

16 *Alenti* リフトのブレーキを解放します。

17 *Alenti* リフトをベッドから遠ざけるよう移動します。

18 患者を背面に横転させます。

19 ベッドレールを上に引き上げます。

患者の入浴

図 1

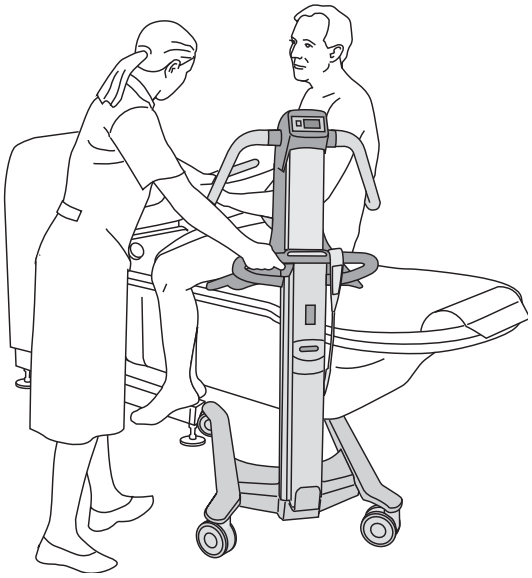
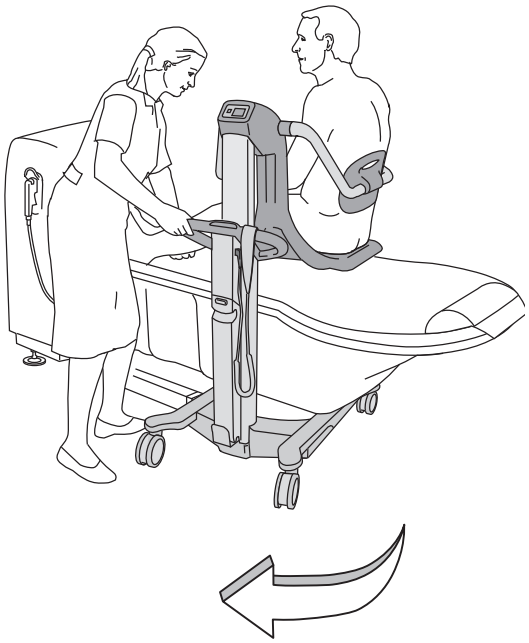


図 2



浴槽まで

（14 ステップ）

警告

危険な状態に陥ることのないように、移乗中は患者の髪の毛、両腕及び両足を体に密着させて、指定されたサポートを使用するようにしてください。

警告

使用中に製品が転倒しないように、製品の近くにある他の機器を上げたり下げたりせず、低くするときは固定されたものに気をつけてください。

Alenti リフトは、Arjo *System 2000* バス範囲及び 2004 年以降の *Century* バスに適合します。

1 浴槽を最低位置まで下降させます。

2 *Alenti* リフトの高さを、シート及び性器が浴槽の縁より上になるまで調整します。
Alenti リフトの高さ異を調整する際、*Alenti* リフトと浴槽の間に横への十分なクリアランスがあることを確認してください。

3 *Alenti*リフトを浴槽の先端に対して斜めに配置します。**（図 1 参照）**

4 **警告**

性器が挟まったりしないように、浴槽の縁やトイレ、ベッドパン、その他家具類の上を移乗する際に十分な隙間があることを確認してください。

Alenti リフトを回転する際に、患者の脚が浴槽の縁を越えられるよう介助します。**（図 2 参照）**

5 患者に水を足で感じさせてください。必要に応じて湯温を調節します。

次のページへ

図 3

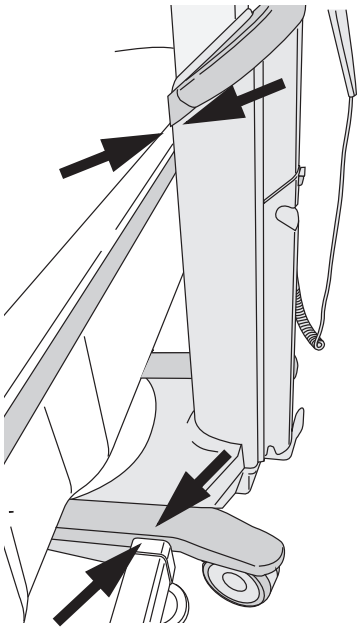


図 4



6 浴槽に対して停止位置にくるまで *Alenti* リフトを浴槽の上中央に配置します。*Alenti* リフトが浴槽脚と浴槽の縁に対してドッキングされていることを確認してください。**（図 3 参照）**

7 *Alenti* リフトを人間工学的作業高さに調整します。

8 **警告**

性器が挟まったりしないように、浴槽の縁やトイレ、ベッドパン、その他家具類の上を移乗する際に十分な隙間があることを確認してください。

浴槽を上昇させますが、体の部分が浴槽の底とシートの間に挟まないよう注意してください。

9 もし患者が希望する場合、両方のハンドル（ハンドと背もたれ）を後ろに折りたたむオプションもあります。ステップ 10-13 をご覧ください。それ以外はステップ 14 まで続けます。

10 安全ベルトをバックレストハンドルから外して、ベルトをハンドレスト - ハンドルアームの上部にかけます。

11 患者を前方に傾けさせ、患者の手をハンドレスト上に置きます。

12 バックレスト - ハンドルアームを後方へたたんで、患者から遠ざけます。これにより患者は浴槽とバスピローに対して上体を反らせることができるようになります。**（図 4 参照）**

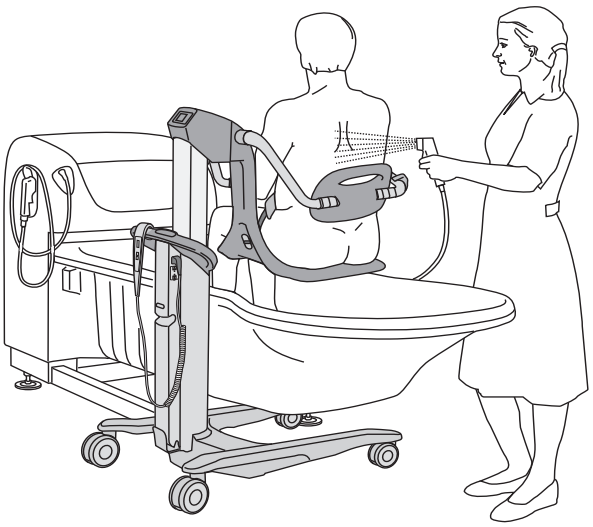
13 ハンドレスト - ハンドルアームを後方にたたんで、患者から遠ざけます。

14 患者を入浴させます。

図 1



図 2



浴槽から

（16 ステップ）

1 入浴後は排水口を開けます。

2 ハンドレストハンドルが後方にたたんである場合、患者の前にセットします。

3 **警告**

落下を防止するために、患者が正しい位置に座っていて、なおかつ安全ベルトが患者の体を適切に固定していることを確認してください。

警告

患者が装置から落下するのを防止するために、移動の間アームレストが患者の前にセットされていることを確認してください。

患者がシートの中央にきちんと座っていることを確認してください：

- 臀部がシートの後ろにある。
- 背中が背もたれでサポートされている。
- 両手をハンドレストに置いている。

4 患者を前方に傾けさせ、バックレスト - ハンドルアームを患者の後ろにセットします。**（図 1 参照）**

5 安全ベルトを固定します。

6 *Alenti* リフトシートを浴槽の底から離すには、浴槽をその最低位置にまで下降させます。

7 シャワーを開始して、水流を患者に直接向ける前に、患者に水を手でまず感じさせてください。

8 患者をシャワー洗体します。**（図 2 参照）**

9 患者の体を乾かしてから、タオルで体を温かくかつ快適に保ちます。

次のページへ

図 3

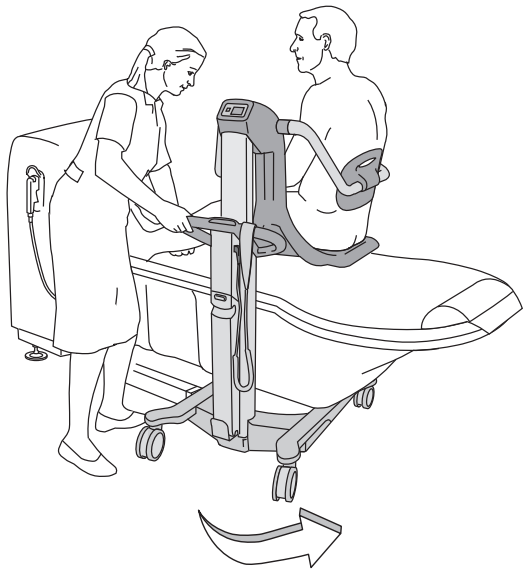


図 4



10 患者がシート中央できちんと座っていることを確認してください。

11 *Alenti* リフトを、シートが浴槽の縁より上になるまで上昇させます。

12 **警告**

患者が落下するのを防ぐため、患者の移動、着衣や脱衣を行う前に、製品が最低の位置にあることを常に確認するようにしてください。

患者の足をシャワー洗体し、乾かします。シートの下も同様に乾かして、*Alenti* リフトを浴槽から移動した際に床に水が垂れないようにします。

13 **警告**

性器が挟まったりしないように、浴槽の縁やトイレ、ベッドパン、その他家具類の上を移乗する際に十分な隙間があることを確認してください。

Alenti リフトを回転して浴槽から離す際に患者の脚が浴槽の縁を越せるよう介助してください。**(図 3 参照)**

14 **警告**

使用中に製品が転倒しないように、製品の近くにある他の機器を上げたり下げたりせず、低くするときは固定されたものに気をつけてください。

接触することのないよう、*Alenti* リフトが浴槽やその他の機器よりも完全に上にあることを確認してください。

15 患者の足がシャーシに接触するまで*Alenti*リフトを降下させます。

16 二次感染を防ぐために、使用後は *Alenti* リフトを消毒するようにしてください。**(図 4 参照)** *34 ページのクリーニングと消毒の手順* のセクションを参照してください。

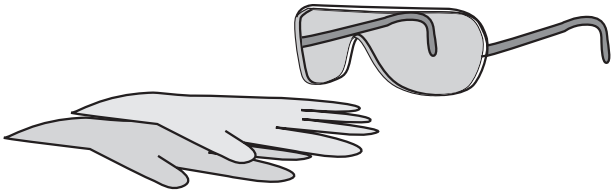
クリーニングと消毒の手順

最良の結果を得るためには、Arjo 製消毒液のみを使用することです。

製品の消毒に関してご質問のある場合、または消毒液を発注される場合（*52 ページの部品とアクセサリ*を参照）、最寄りの Arjo 代理店にお問い合わせください。

以下の手順は、リフトの使用後及び業務終了時に実施するようにしてください。

警告



目と皮膚の損傷を防ぐために、保護用めがねと手袋を必ず装着してください。万一目に入った場合、大量の水で洗い流してください。目と皮膚が炎症を起こしている場合、医師にご相談ください。消毒液の取扱説明書と製品安全データシート (MSDS) を必ずお読みください。

警告

二次感染を防ぐために、常に本*取扱説明書* の消毒の手順に従ってください。

警告

目や皮膚の炎症を防ぐために、患者がいる所で決して消毒しないでください。

注意

製品の損傷を防ぐために、Arjo 製の消毒液を使用してください。

Alenti リフトの消毒用アクセサリ

- 保護用手袋
- 保護用めがね
- 消毒剤入りスプレーボトル
- 水入りスプレーボトル
- 濡らした布と乾いた布
- 使い捨てタオル
- 毛先の柔らかいブラシ
- 毛先が柔らかく、長い柄の付いたブラシ

図 1

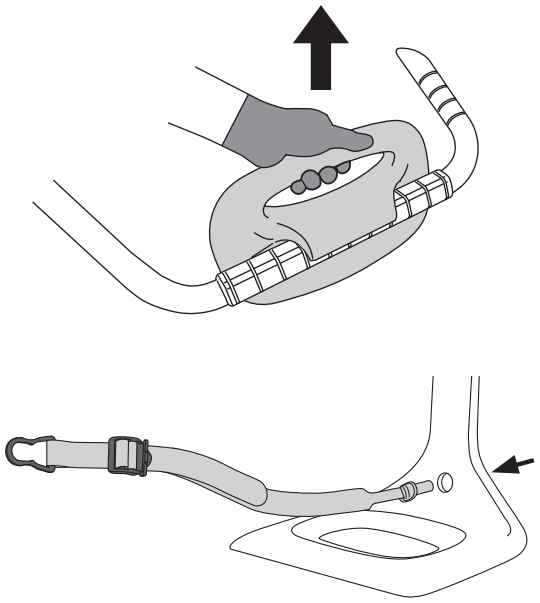
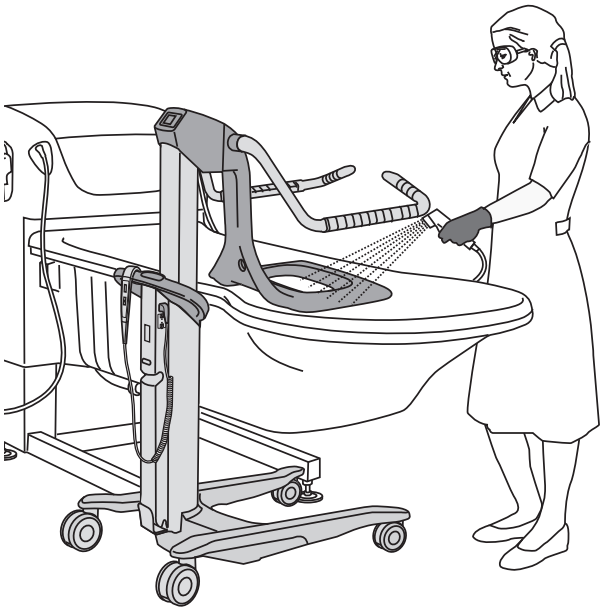


図 2



クリーニングと消毒を実施するために、ここに記載した 17 ステップを常に従ってください。

目視できる汚れの除去（17 ステップのうち 1-3）

1 背もたれと安全ベルトを外して、浴槽の底に置いてください。**（図 1 参照）**

2 浴槽の上に *Alenti* リフトを配置して、降下させます。

3 洗浄：

- *Alenti* リフトの上部（洗浄は上部から下方に向かって行う）
- 外された全ての部品

上記から目に見える残留物を石鹸水で湿られた布で取り除きます。あるいは、シャワーをかけながらブラシ及び / またはクロスで拭き取ります。

クリーニング（17 ステップのうち 4-11）

4 保護用手袋とめがねを装着します。

5 殆どの Arjo 製の浴槽は、消毒目的でスプレーハンドルが装備しています。消毒液の使用方法に関する説明書をお読みください。消毒剤のレベルをチェックします。

6 消毒機器を持っていない場合、消毒ボトルに記載された説明に従って混合した消毒液をスプレーボトルに入れて使用できます。

7 スプレー消毒**（図 2 参照）**：

- Alenti リフトの上部
- 外された全ての部品

消毒液に浸したブラシを使って汚れを十分に落とします（特にハンドルとハンドコントロール）。

8 シャワー（約 25 °C (77 °F)）を出すか、大量の水をスプレーまたは注ぎかけ、清潔な布で消毒液をすべて拭き取ります。

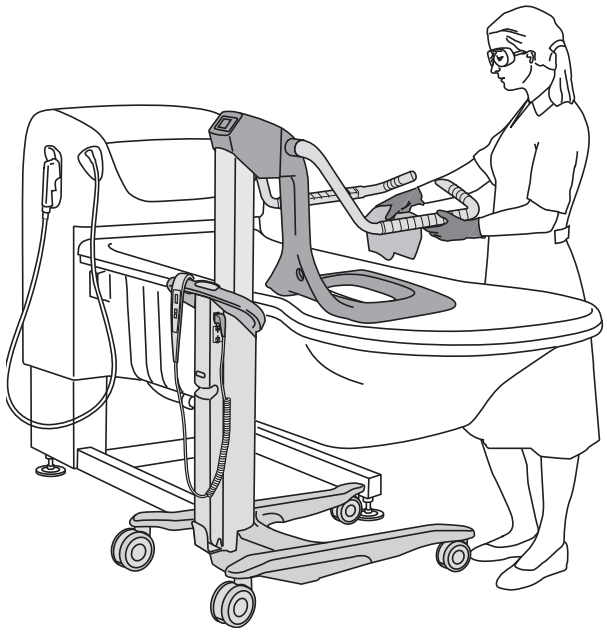
9 消毒液に浸した布で、*Alenti* リフトの他の部分（シャーシなど）を拭きます。

10 水に濡らした新しい布で、*Alenti* リフトの他の部分から消毒液を完全に拭き取ります。消毒液を取り除くときは、適宜、流水で布から消毒液を洗い流してください。

11 消毒液を除去できない部分があるときは、水をスプレーして、使い捨てのタオルで拭きます。消毒液がすべて除去されるまで、繰り返し行います。

次のページへ

図 3



消毒（17 ステップの 12-17）

12 消毒液のスプレー：

- *Alenti* リフトの上部
- 外された全ての部品

13 消毒液に浸した布で、*Alenti* リフトの他の部分（シャーシなど）を拭きます。

14 消毒液容器のラベルに記載された指示に従って、消毒時間をとります。

15 スプレーまたはシャワー（約 25 °C (77 °F)）をかけて、清潔な布で消毒液をすべて拭き取ります：

- *Alenti* リフトの上部
- 外された全ての部品
- *Alenti* リフトの他のすべての部分（シャーシなど）

消毒液を除去するときは、適宜、流水で布から消毒液を洗い流す必要があります。**（図 3 参照）**

16 消毒液を除去できない部分があるときは、水をスプレーして、使い捨てのタオルで拭きます。消毒液がすべて除去されるまで、繰り返し行います。

17 すべての部品を乾燥させます。

バッテリー使用上の注意

警告

怪我を防止するため、バッテリーへの衝撃、絶縁破壊、開封、分解、機械的な妨害を行わないでください。

- **バッテリーケースが割れてバッテリー液が皮膚や衣類についた場合、直ちに水で洗い流してください。**
- **バッテリー液が目に入った場合、直ちに大量の水で洗い流し、医師の診断を受けてください。**
- **バッテリーの内容物を吸引すると、呼吸器系に刺激を引き起こす可能性があります。新鮮な空気にて深呼吸し、医師の診断を受けてください。**

- バッテリーを落下させないように注意してください。
- バッテリーを破棄する際、地域の地方自治体の指示に従ってください。
- バッテリーのラベルをチェックしてください。

低電圧警告

バッテリーの残量が少なくなるとブザー音が鳴ります。この場合、できる限り早く再充電するようにしてください。

バッテリーの保管

- バッテリーは充電された状態で納品されますが、少量の自己放電があるため、受け取ったらバッテリーを充電するようお勧めします。
- バッテリーは使用していないと徐々に放電します。
- バッテリーは、-0°C ～ +30°C (32°F ～ 86°F) の温度範囲で保管及び輸送する必要があり、低い温度ではサービス寿命が伸びます。
- 最大のバッテリー性能を得るには、50°C (122°F) を超える環境でバッテリーを保管しないでください。

充電器の設置：

NDA-X200 バッテリー充電器の取扱説明書 をご覧ください。

バッテリーの充電方法：

NDA-X200 バッテリー充電器の使用方法 をご覧ください。

お手入れと保守・点検

Alenti リフトは消耗するものであり、製品がメーカー仕様を維持するようにと明記してある場合、以下の措置を講じる必要があります。

警告

傷害事故をもたらす故障を防止するため、定期的な点検を実施し、推奨メンテナンススケジュールに従ってください。製品が酷使されている場合、あるいは苛酷な環境にさらされている場合、さらに頻繁な点検を実施してください。地域の規制や標準が、本推奨メンテナンス計画よりも厳格な場合があります。

注記
患者に使用している間は、製品のメンテナンスや修理をすることはできません。

保守・点検メンテナンス計画

介助者の義務である措置/チェック	1 日に 1 回	1 週間に 1 回	2 年に 1 回
消毒	X		
機械式アタッチメントの点検		X	
安全ベルト / レッグストラップの目視点検		X	
ハンドコントロールとケーブルのチェック		X	
キャスターのチェックと清掃		X	
ブレーキ機能とブレーキパッドの点検		X	
バッテリー充電器とバッテリーの目視点検		X	
露出部品すべての目視点検		X	
腐食と損傷のチェック		X	
機能試験の実施		X	
安全ベルトの交換			X

警告

患者や介助者の怪我を防止するため、製品を改造したり、互換性のない部品を使用しないでください。

図 1



図 2

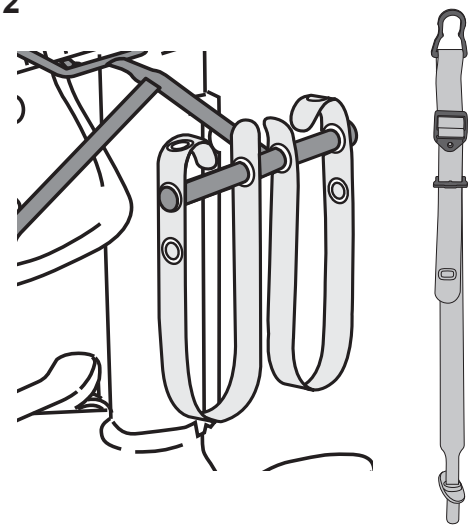
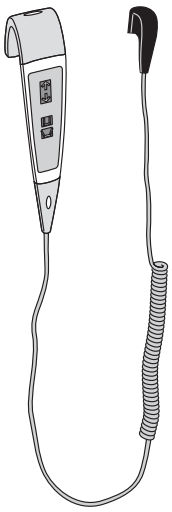


図 3



介助者の義務

本*取扱説明書*の手順に従い、*Alenti* リフトに関する十分な知識を持った担当者によって、介助者の義務を実施してください。

毎日

- **消毒。***Alenti* リフトは使用後ただちに洗浄しなければなりません。Arjo 製の消毒液は推奨濃度で使用してください。*34 ページのクリーニングと消毒の手順* のセクションを参照してください。

毎週

- 足をシャーシに置いたり、両手でシートを上に引いたりして、**機械式アタッチメントを検査します。**（**図 1 参照**）
  シャーシとシート間の隙間は許されません。

- **安全ベルトとレッグストラップを目視検査します。**全体の摩損、切断、ひび割れ、裂け、内部繊維の見え、及び他の損傷がないか検査確認します。（**図 2 参照**）

  いずれにしても安全ベルトが損傷している場合、交換してください。
- **ハンドコントロールとコードのチェック：**ハンドコントロールとケーブルの状態の目視点検を行う。切断や損傷がある場合、交換してください。（**図 3 参照**）

図 4

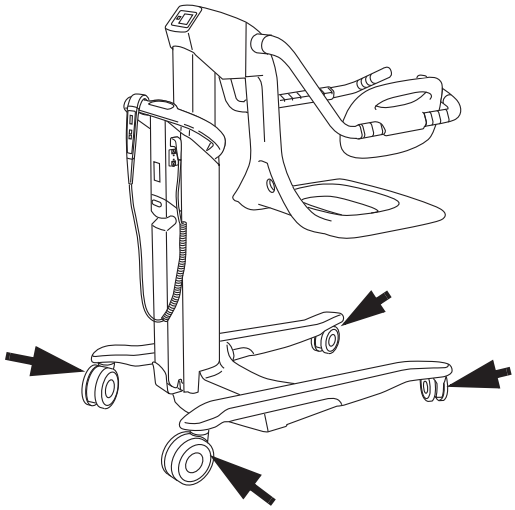


図 5

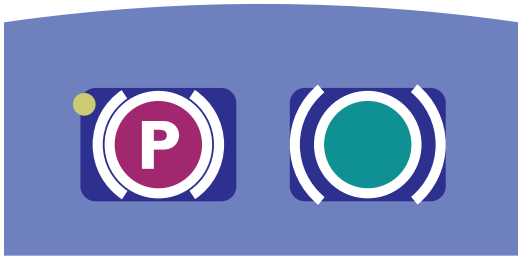
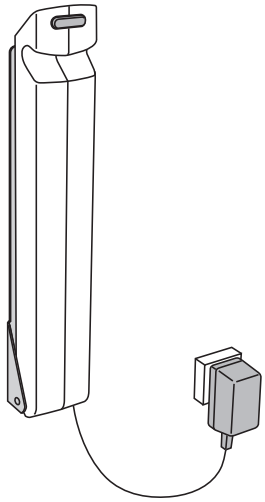


図 6



- **キャスターが適切に固定されていて**、滑らかに回転・旋回するかチェックしてください。**（図 4 参照）**
  水で洗浄してください（床を掃除した際の石けん水、髪の毛、ほこり、化学薬品などによって機能に影響が及ぶ恐れがある）。

- ブレーキを作動させることで**中央のブレーキ機能とブレーキパッドを検査し**、*Alenti* リフトの移動を試みてください。ブレーキがかかると *Alenti* リフトは移動しないことを確認してください。**（図 5 参照）**

- **バッテリー充電器**、コード、バッテリーの状態の目視点検を行います。**（図 6 参照）**
  損傷している場合、直ちに取り外して交換してください。

- **露出部品**、特に患者や介助者が触るすべての部品の目視点検を行ってください。患者や介助者に怪我をさせたり、不衛生な状態を招いたりするクラックや鋭利な角がないことを確認してください。損傷した部品は交換してください。

- **腐食と損傷のチェック：**目視確認できる腐食や損傷がある場合、最寄りの Arjo 代理店に連絡してサポートを受けてください。

- **機能試験の実施：**
  ハンドコントロールとコントロールパネルの上下ボタンを押して、上下動作をテストしてください。また、緊急高 / 低及びブレーキもテストします。

毎年

- 定期的保守・点検スケジュール（有資格者による措置 / チェック）に基づき、*Alenti* リフトの点検を行います。

警告

怪我を防止及び製品を安全に使用するため、正しい工具、部品及び手順の知識を有する、資格ある担当者により適切な頻度でメンテナンス作業を実施しなければなりません。有資格担当者は、本製品のトレーニングとメンテナンス文書を携帯する必要があります。

有資格者による措置 / チェック	毎年	2 年に 1 回
ブレーキパッドの交換	X	
安全耐荷重テストの実施（国内要求事項）	X	
内部部品への注油	X	
バッテリーとバッテリー充電器のチェック	X	
体重計校正の点検（付属していて未認証の場合）	X	
重要な部品の腐食と損傷をチェック	X	
フル機能テストの実施	X	
機械式アタッチメントのチェック	X	
最新のアップグレード部品になっているかチェック	X	
安全停止機能のチェック	X	
緊急高 / 低機能のチェック	X	
キャスターを検査	X	
ガイドピース、低ブッシング及びアウタープロファイルシー		X
アクチュエータのプラスチッククロスの交換		X

注記
表のチェックポイント *38 ページの介助者の義務である措置 / チェック*を実施する際は、その全てのチェックポイントを点検する必要があります *41 ページの有資格者による措置 / チェック*。

トラブルシューティング

問題	措置
ハンドコントロールボタンまたはコントロールパネルボタンから手を放した後も、*Alenti* リフトが昇降する。	1 バッテリーを取り出して、患者を *Alenti* リフトから降ろします。 2 ハンドコントロールを外して、バッテリーを戻します。不具合が発生した場合、ハンドコントロールを交換します。 3 不具合が直らない場合、有資格担当者に連絡してください。
ハンドコントロールボタンあるいはコントロールパネルボタンを押しても、*Alenti* リフトが昇降しない。	1 バッテリーが *Alenti* リフトに正しく接続されていることを確認してください。 2 バッテリーが十分に充電されていることを確認してください。(バッテリーがフルに充電されると、*Alenti* リフトにあるバッテリー充電器のランプが緑に点灯) 3 *Alenti* リフトが固定物体まで降下していないことを確認してください。これが発生した場合、自動安全停止機能がオンになります。 4 緊急高 / 低機能を使用して、患者を *Alenti* リフトから降ろします。有資格担当者に連絡してください。
Alenti リフト機能は、ハンドコントロールではなく、コントロールパネルでのみ操作できます。	1 ハンドコントロール接続プラグがコンセントに正しく差し込まれているか確認してください。 2 問題が直らない場合、ハンドコントロールを交換してください。
Alenti リフトが自ら昇降する。	安全耐荷重である 182 kg / 400 lbs を超えてないことを確認してください。この条件を超えても降下機能は作動します。
Alenti リフトの操作が困難である。	1 ブレーキがリリースされていることを確認してください。 2 キャスターがスムーズに回転及び旋回することを確認してください。そうでない場合、入居者を *Alenti* 1 リフトから降ろして、有資格担当者へ連絡してください。
ブレーキが効かない場合。	1 *Alenti* リフトが水平面に設置されていることを確認してください。(フロアの傾斜比は 1:50 を超えないこと)。 2 ブレーキ警報音を発する場合、水平面に *Alenti* リフトを移動して、再度ブレーキかけ直してください。警報が続く場合、有資格担当者へ連絡してください。
オプションの内蔵体重計が作動しない場合。	1 バッテリーが *Alenti* リフトに正しく接続されていることを確認してください。 2 バッテリーが十分充電されているか確認してください。バッテリーが完全に充電されると、*Alenti* リフトにあるバッテリー充電器のランプは緑色に点灯します。 3 問題が直らない場合、有資格担当者へ連絡してください。
体重計に「TILT（傾いている）」が表示される。	1 *Alenti* リフトが水平になっていることを確認してください。 2 問題が直らない場合、有資格担当者へ連絡してください。
体重計に「TILT（傾いている）」以外のエラーコードは表示されない。	有資格担当者に連絡してください。
リフトを降ろすことしかできない。	本製品の昇降装置は安全ナットを装備しています。安全ナットが作動した場合、製品は安全位置まで降下することのみ可能となります。このような状況に陥った場合、製品の使用を止めて、認定サービス有資格担当者に連絡して製品の修理をご依頼ください。

アラーム

警報	措置
Alenti リフトには、さまざまな不具合を通知するための 3 種類の警報信号があります。	
1　低バッテリー信号	上昇ボタン（上矢印）を押すと、警報音が 1 秒間に 1 回の割合で 10 秒間鳴ります。 バッテリーを充電してください。 警報音が続く場合、最寄りの Arjo サービス技術員に連絡してください。
2　ブレーキの不具合	いずれかのボタンを押すと、警報音が 1 秒間に 4 回の割合で 10 秒間鳴ります。コントロールパネルとハンドコントロールの LED も点灯します。 この警報はブレーキの不具合を示します。水平面に *Alenti* リフトを移動して、再度ブレーキかけ直してください。 警報音が続く場合、最寄りの Arjo サービス技術員に連絡してください。
3　回路基板の不具合	この警報音は、30 秒間の中断をはさみながら、1 秒間に 4 回の割合で最大 5 秒間鳴り続きます。警報はバッテリーの取り外しでのみ停止できます。 この警報は回路基板の不具合を示します。患者が *Alenti* リフトを使用している最中に警報音が鳴り出した場合、入浴や移動のような仕事を直ちに完了させてください。 次に最寄りの Arjo サービス技術員に連絡してください。

注記
本書のトラブルシューティング対応措置でも問題が解決できない場合は、Arjo の認定サービス技術員に連絡してください。

技術仕様

Alenti リフトハイジーンチェアモデル CDB 81XX	
安全耐荷重 (SWL)（最大荷重）	182 kg (400 lbs.)
リフト重量	67 kg (148 lbs.)
最大持上げ重量 （リフト、パワードライブおよび体重計）	72 kg (159 lbs.)
カラー	グレー /ボルドーレッド/ブルー
ヘルスケア福祉入浴機器	種類 
音量	< 65 dB A
操作モード	ED 最大 10%、最大 2 分 ON 最小 18 分 OFF
コントロールの操作力	2.7 N
バッテリー番号 NDA0100-XX	密閉形鉛酸蓄電池 24 V、4 Ah
バッテリー充電器	NDA 1200-EU、NDA 2200-GB、NDA 4200-US、NDA 6200-AU および NDA8200-INT
保護等級	IP X4
絶縁等級	等級 II
耐火等級	EN/ISO 60601-1 規格に準拠
汚染度	2

動作、輸送及び保管	
周囲温度の範囲	操作 +10 °C ～ +40 °C (+ 50 °F ～ 104 °F) 輸送と保管 –10 °C ～ +50 °C (+14 °F ～ +122 °F)
相対湿度の範囲	30% - 75%、動作時 10% - 80%、輸送及び保管時
大気圧の範囲	700 - 1060 hPa、動作時 500 - 1060 hPa、輸送及び保管時

使用可能な組合せ	
Alenti リフトは以下の製品との併用が可能です：	Arjo 治具： Sara 3000、Sara Plus、System 2000、Malibu 1600 及び Malibu 1700
	一般的な車椅子： ほとんどのモデル
	一般的な病院用ベッド： フロアまでのクリアランスとして最低 150 mm を有する一般的なモデル
その他の組合せは使用できません。	

リサイクル
製品は国内規制に従ってリサイクルします。

梱包	木材、段ボール箱及びプラスチックはリサイクル可

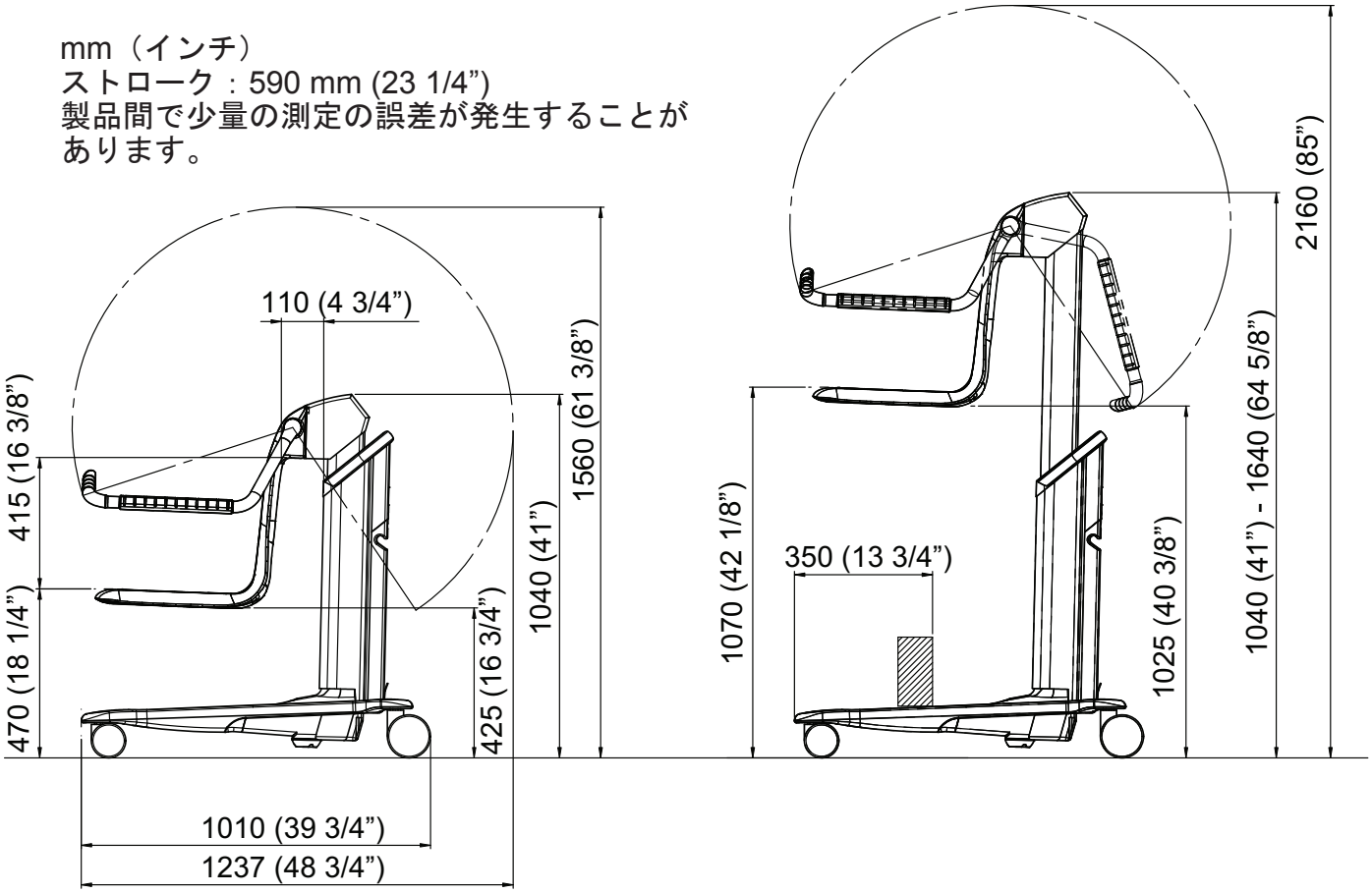
耐用年数後の廃棄

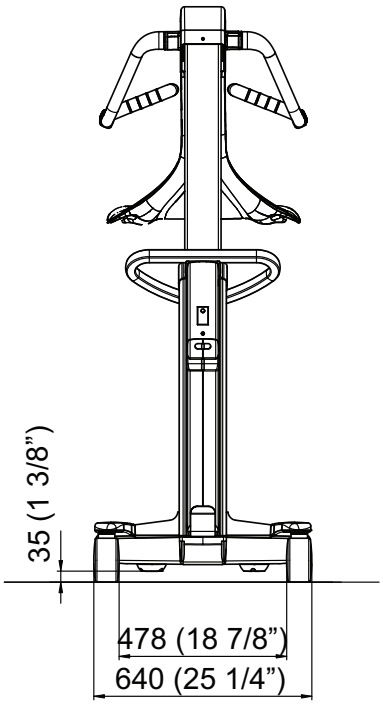
- 製品に付属しているすべてのバッテリーは別々にリサイクルしなければなりません。バッテリーは、国または地方条例に従って廃棄してください。
- 補強材、安定材、緩衝材およびその他の繊維またはポリマー、プラスチック材等を含むスリングは、可燃性廃棄物に分類してください。
- 電気および電子部品または電気コードがあるリフト関連製品は、電気・電子機器の廃棄 (WEEE) または地方自治体あるいは国の法令に従って分解し、リサイクルしてください。
- スリングバー、レール、レール保持部材のような主にさまざまな金属で構成される部品（重量で 90% 以上が金属）は、金属としてリサイクルしてください。

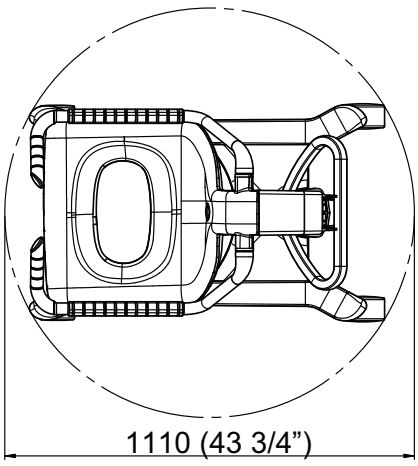
注記
Alenti リフトで使用されている全ての材質は、既存の生体適合性規格に準拠しており、適宜それに応じた試験が実施されています (ISO 10993-5)。
シート及び背もたれに使用されている本体サポート材質は PUR（ポリウレタン）です。

寸法

mm（インチ）
ストローク：590 mm (23 1/4”)
製品間で少量の測定の誤差が発生することがあります。







認証と標準規格リスト

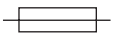
認証と標準規格のリスト	説明
EN/IEC 60601-1:2005 AMD1:2012	医療用電気機器 – パート 1: 基礎的安全と基本性能に関する一般的要件
ANSI/AAMI ES60601-1 (2005) AMD 1 (2012)	医療用電気機器 – パート 1: 基礎的安全と基本性能に関する一般的要件
CAN/CSA-C22.2 No. 60601-1:14	医療用電気機器 – パート 1: 基礎的安全と基本性能に関する一般的要件
ISO 10535:2006	身体障がい者の移動用ホイスト -- 要件とテスト方法。

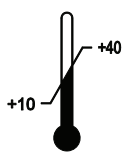
Alenti リフトのラベル

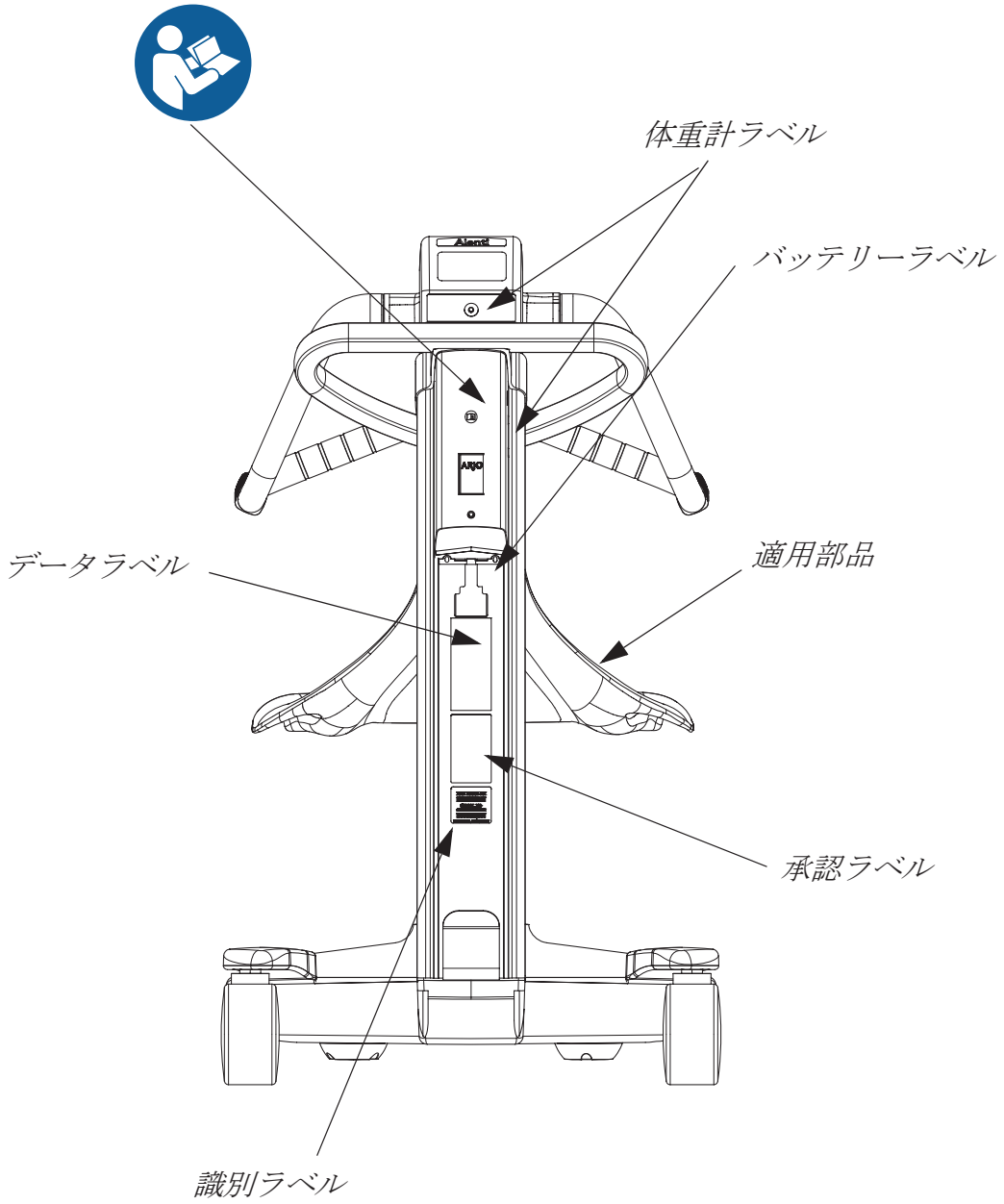
ラベルの説明

バッテリーラベル	バッテリーの安全性と環境的情報が記載されています。
データラベル	入力電力、入力電圧および最大患者重量等の技術的性能および要件が記載されています。
識別ラベル	製品識別、製造番号および製造年と月が記載されています。

記号の説明

SWL	安全耐荷重
	機器の全重量。安全使用耐荷重を含む。
	持ち上げストローク長 590 mm (23 1/4”)
24V DC	供給電圧
最大：200 VA	最大電力
	ヒューズ F1 F10AL 250 V ヒューズ F2 - T2.5AL 250 V
IP X4	保護程度 （すなわち、製品は水はねから保護されている）
	B 等級 適用部品：IEC 60601-1 に基づく感電に対する保護
ED 最大 10%	高/低機能の操作モード： ED 最大 10%； 最大 2 分 ON； 最小18 分 OFF
NDA0100-XX	バッテリー製品番号
CE 2797	欧州共同体統一法への適合を示す CE マーキング 図は、監督認証機関のトレードマークです。
	バッテリーは本製品の主電源です。

	使用前に、*取扱説明書*をお読みください。
	EC 指令 2012/19/EU (WEEE) に基づく、リサイクル用電気及び電子コンポーネントの分別。
	「承認と規格リスト」のみに準拠した、感電、火災、機械的危険及びその他の特定障害に関する Underwriters Laboratories Inc. による分類。
	環境危険 — 鉛を含有。 破棄対象品ではありません。
	リサイクル可
	メーカーの名称及び住所
	製造日
最大	計量機器の最大耐荷重能力
最小	最大容量/サービス電話番号
e	検定間隔
CE 2797 MYY 0122	計測学マーク（指令 2014/31/EC (NAWI) の迎合性を示す）YY = 年（クラス III 体重計のみ）
REF	モデル番号
SN	シリアル番号
	体重計の使用における最小/最大温度を示しています
MD	本製品が EU 医療機器規制 2017/745に準拠した医療機器であることを示します


体重計ラベル
バッテリーラベル
データラベル
適用部品
承認ラベル
識別ラベル

電磁両立性規格 (EMC)

本製品は、外部環境から EMI（電磁干渉）を遮断する能力に関して、現行の規制基準への準拠がテストされています。

一部手順は電磁干渉の軽減に役立ちます。

- 機器の正しい機能を損ないかねない、放射の増加あるいは耐性の減少を回避するため、Arjo ケーブルおよび予備部品だけを使用してください。
- 患者のモニタリングおよび / または生命維持領域の他の装置が、認められた電磁気放射基準に準拠しています。

警告

無線コンピュータネットワーク装置、携帯電話、コードレス電話およびその基地局、トランシーバーなどの無線通信機器は、本製品に影響を与えることがあるため、製品から少なくとも 1.5 m の間隔を置いて配置する必要があります。

意図された環境：専門ヘルスケア施設環境。

例外：磁気共鳴映像法用 ME システムの高周波手術器具および RF シールドルーム。

警告

本製品を他の機器に隣接して、または他の機器と積み重ねて使用すると、誤作動することがありますのでやめてください。このような使用法が必要な場合、本製品と他の機器を観察して、正常な作動を確認してください。

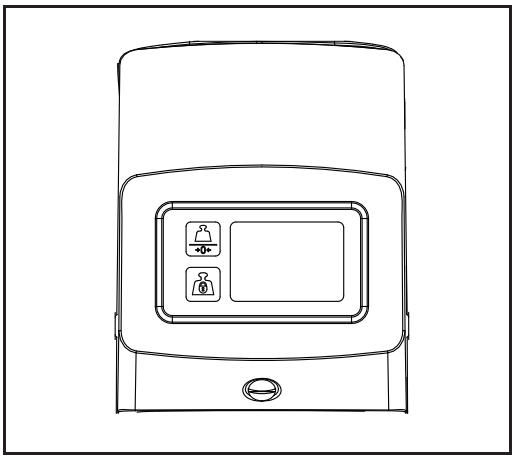
ガイダンスとメーカーの宣言 – 電磁界エミッション		
エミッション試験	**法令準拠レベル**	**ガイダンス**
RF 放射 CISPR 11	グループ 1	本製品はRFエネルギーをその内部機能のためにのみ使用します。従って、その RF エミッションは非常に低いため、近隣の電気機器に影響を及ぼしにくくなっています。
RF 放射 CISPR 11	クラス B	本製品は家庭用施設、および家庭用に使われる建物に供給する公共低電圧電力供給ネットワークに直接接続されたものを含む、あらゆる施設での使用に適しています。

ガイダンスとメーカー宣言 – 電磁耐性			
耐性試験	**IEC 60601-1-2 試験レベル**	**法令準拠レベル**	**電磁環境 – ガイダンス**
静電放電 (ESD) EN 61000-4-2	±2kV、±4kV、±8kV、 ±15kV 気中 ±8kV 接触	±2kV、±4kV、±8kV、 ±15kV 気中 ±8kV 接触	床はフローリング、コンクリートあるいはセラミックタイルにしてください。床が合成材に変更された場合、相対湿度は最低 30% にしなければなりません。
RF 場により惹起された電動妨害 EN 61000-4-6	0.15 MHz ～ 80 MHz において 3V 0.15 MHz ~ 80 MHz 間の ISM およびアマチュア無線周波数帯において 6V 80% AM、1 kHz にて	0.15 MHz ～ 80 MHz において 3V 0.15 MHz ~ 80 MHz 間の ISM およびアマチュア無線周波数帯において 6V 80% AM、1 kHz にて	通信機の出力電力定格が電磁気の実地調査で判定される通り、固定 RF 発信機からで磁界強度 1W[a] を超過する場合、携帯及びモバイル RF 通信機器は、ケーブルを含めて本製品のあらゆる部分から 1.0 メートルより近くで使用すべきではありません。固定 RF 送信機からのフィールド強度は、電磁サイト調査によって決定されている通り、各周波数範囲[b] のコンプライアンスレベルよりも少ない値にしなければなりません。 この記号が記された機器の近くでは、干渉が生じる可能性があります。 
放射 RF 電磁場 EN 61000-4-3	専門ヘルスケア環境 3 V/m 80 MHz ～ 2.7 GHz 80% AM、1 kHz にて	専門ヘルスケア環境 3 V/m 80 MHz ～ 2.7 GHz 80% AM、1 kHz にて	
RF 無線通信機器の近接フィールド EN 61000-4-3	385 MHz - 27 V/m 450 MHz - 28 V/m 710, 745, 780 MHz - 9V/m 810, 870, 930 MHz - 28 V/m 1720, 1845, 1970, 2450 MHz - 28 V/m 5240,5500, 5785 MHz - 9V/m	385 MHz - 27 V/m 450 MHz - 28 V/m 710, 745, 780 MHz - 9V/m 810, 870, 930 MHz - 28 V/m 1720, 1845, 1970, 2450 MHz - 28 V/m 5240,5500, 5785 MHz - 9V/m	
電気高速過渡 / 爆発 EN 61000-4-4	±1kV SIP/SOP ポート 100 kHz 繰返し周波数	±1kV SIP/SOP ポート 100 kHz 繰返し周波数	
電源周波数磁場 EN 61000-4-8	30 A/m 50 Hz または 60 Hz	30 A/m 50 Hz	電力周波数磁場は、一般商用または病院環境での典型的な場所での特性レベルである必要があります。

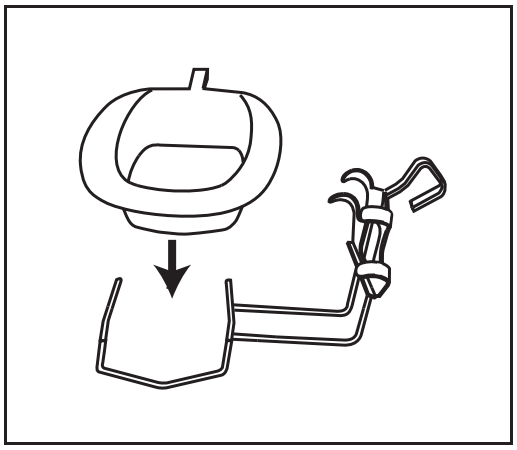
[a] 無線（携帯/コードレス）電話と陸上移動無線の基地局、アマチュア無線、AM/FMラジオ放送局及び TV 放送局のような固定送信機による電界強度は、理論上、正確に予測することは不可能です。固定 RF 送信機による電磁環境を評価するには、電磁サイト調査の実施を検討するようにしてください。製品が使用される場所における測定電界強度が適用される RF 適合性レベルを超える場合は、製品を観察し、正常な操作を確認する必要があります。異常な性能が認められた場合、追加測定が必要になることがあります。

[b] 150 kHz ～ 80 MHz の周波数範囲外にある場合、電界強度は 1 V/m 未満でなければなりません。

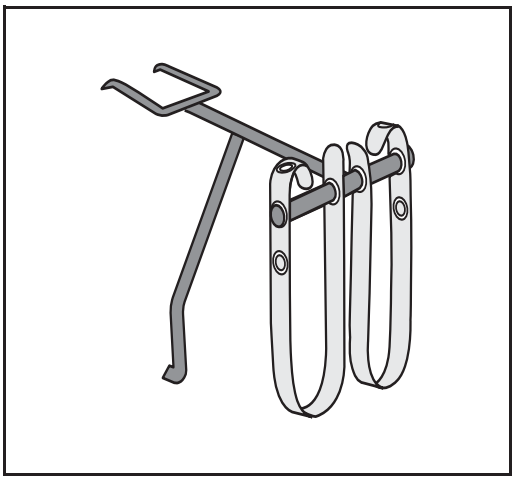
部品とアクセサリ



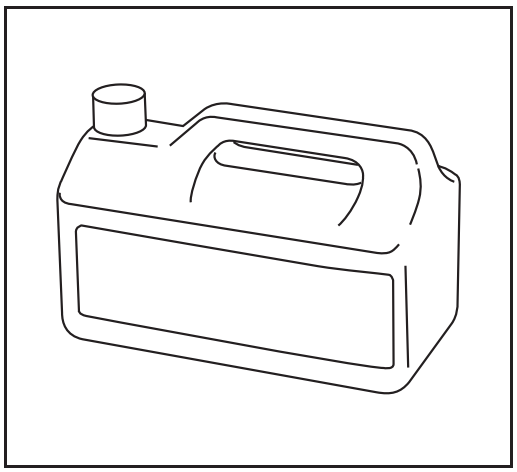
CDA2100-01
電気式体重計



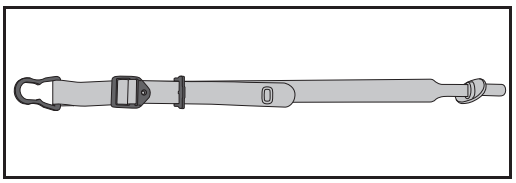
CDA1500-7 ベッドパン
CDA1104-90 ベッドパンホルダー



CDA1300-04
レッグサポートとレッグストラップ



消毒に関してのご質問は、最寄りの
Arjo 代理店までご連絡ください



CDA1450-035
安全ベルト

意図的に空白のままに

意図的に空白のままに

AUSTRALIA
Arjo Australia
Building B, Level 3
11 Talavera Road
Macquarie Park, NSW, 2113,
Australia
Phone: 1800 072 040

BELGIQUE / BELGIË
Arjo Belgium
Evenbroekveld 16
9420 Erpe-Mere
Phone: +32 (0) 53 60 73 80
Fax: +32 (0) 53 60 73 81
E-mail: info.belgium@arjo.com

BRASIL
Arjo Brasil Equipamentos Médicos Ltda
Rua Marina Ciufuli Zanfelice, 329 PB02
Galpão - Lapa
São Paulo – SP – Brasil
CEP: 05040-000
Phone: 55-11-3588-5088
E-mail: vendas.latam@arjo.com
E-mail: servicios.latam@arjo.com

CANADA
Arjo Canada Inc.
90 Matheson Boulevard West
Suite 300
CA-MISSISSAUGA, ON, L5R 3R3
Tel/Tél: +1 905 238 7880
Free: +1 800 665 4831 Institutional
Free: +1 800 868 0441 Home Care
Fax: +1 905 238 7881
E-mail: info.canada@arjo.com

ČESKÁ REPUBLIKA
Arjo Czech Republic s.r.o.
Na Strzi 1702/65
140 00 Praha
Czech Republic
Phone No: +420225092307
e-mail: info.cz@arjo.com

DANMARK
Arjo A/S
Vassingerødvej 52
DK-3540 LYNGE
Tel: +45 49 13 84 86
Fax: +45 49 13 84 87
E-mail:
dk_kundeservice@arjo.com

DEUTSCHLAND
Arjo GmbH
Peter-Sander-Strasse 10
DE-55252 MAINZ-KASTEL
Tel: +49 (0) 6134 186 0
Fax: +49 (0) 6134 186 160
E-mail: info-de@arjo.com

ESPAÑA
ARJO IBERIA S.L.
Poligono Can Salvatella
c/ Cabanyes 1-7
08210 Barberà del Valles
Barcelona - Spain
Telefono 1: +34 900 921 850
Telefono 2: +34 931 315 999

FRANCE
Arjo SAS
2 Avenue Alcide de Gasperi
CS 70133
FR-59436 RONCQ CEDEX
Tél: +33 (0) 3 20 28 13 13
Fax: +33 (0) 3 20 28 13 14
E-mail: info.france@arjo.com

HONG KONG
Arjo Hong Kong Limited
Room 411-414, 4/F, Manhattan Centre,
8 Kwai Cheong Road, Kwai Chung, N.T.,
HONG KONG
Tel: +852 2960 7600
Fax: +852 2960 1711

ITALIA
Arjo Italia S.p.A.
Via Giacomo Peroni 400-402
IT-00131 ROMA
Tel: +39 (0) 6 87426211
Fax: +39 (0) 6 87426222
E-mail: Italy.promo@arjo.com

MIDDLE EAST
Arjo Middle East FZ-LLC
Office 908, 9th Floor,
HQ Building,North Tower,
Dubai Science Park,
Al Barsha South
P.O Box 11488, Dubai,
United Arab Emirates
Direct +971 487 48053
Fax +971 487 48072
Email: Info.ME@arjo.com

NEDERLAND
Arjo Nederland BV
Biezenwei 21
4004 MB TIEL
Postbus 6116
4000 HC TIEL
Tel: +31 (0) 344 64 08 00
Fax: +31 (0) 344 64 08 85
E-mail: info.nl@arjo.com

NEW ZEALAND
Arjo Ltd
34 Vestey Drive
Mount Wellington
NZ-AUCKLAND 1060
Tel: +64 (0) 9 573 5344
Free Call: 0800 000 151
Fax: +64 (0) 9 573 5384
E-mail: nz.info@Arjo.com

NORGE
Arjo Norway AS
Olaf Helsets vei 5
N-0694 OSLO
Tel: +47 22 08 00 50
Faks: +47 22 08 00 51
E-mail: no.kundeservice@arjo.com

ÖSTERREICH
Arjo GmbH
Lemböckgasse 49 / Stiege A / 4.OG
A-1230 Wien
Tel: +43 1 8 66 56
Fax: +43 1 866 56 7000

POLSKA
Arjo Polska Sp. z o.o.
ul. Ks Piotra Wawrzyniaka 2
PL-62-052 KOMORNIKI (Poznań)
Tel: +48 61 662 15 50
Fax: +48 61 662 15 90
E-mail: arjo@arjo.com

PORTUGAL
Arjo em Portugal
MAQUET Portugal, Lda.
(Distribudor Exclusivo)
Rua Poeta Bocage n.º 2 - 2G
PT-1600-233 Lisboa
Tel: +351 214 189 815
Fax: +351 214 177 413
E-mail: Portugal@arjo.com

SUISSE / SCHWEIZ
Arjo AG
Fabrikstrasse 8
Postfach
CH-4614 HÄGENDORF
Tél/Tel: +41 (0) 61 337 97 77
Fax: +41 (0) 61 311 97 42

SUOMI
Arjo Scandinavia AB
Riihitontuntie 7 C
02200 Espoo
Finland
Puh: +358 9 6824 1260
E-mail: Asiakaspalvelu.finland@arjo.com

SVERIGE
Arjo International HQ
Hans Michelsensgatan 10
SE-211 20 MALMÖ
Tel: +46 (0) 10 494 7760
Fax: +46 (0) 10 494 7761
E-mail: kundservice@arjo.com

UNITED KINGDOM
Arjo UK and Ireland
Houghton Hall Park
Houghton Regis
UK-DUNSTABLE LU5 5XF
Tel: +44 (0) 1582 745 700
Fax: +44 (0) 1582 745 745
E-mail: sales.admin@arjo.com

USA
Arjo Inc.
2349 W Lake Street Suite 250
US-Addison, IL 60101
Tel: +1 630 307 2756
Free: +1 80 0 323 1245 Institutional
Free: +1 800 868 0441 Home Care
Fax: +1 630 307 6195
E-mail: us.info@arjo.com

JAPAN
Arjo Japan K.K.
東京都港区虎ノ門三丁目7 番8 号
ランディック第2 虎ノ門ビル9 階
Tel: +81 (0)3-6435-6401
Fax: +81 (0)3-6435-6402
E-mail: info.japan@arjo.com

At Arjo, we are committed to improving the everyday lives of people affected by reduced mobility and age-related health challenges. With products and solutions that ensure ergonomic patient handling, personal hygiene, disinfection, diagnostics, and the effective prevention of pressure ulcers and venous thromboembolism, we help professionals across care environments to continually raise the standard of safe and dignified care. Everything we do, we do with people in mind.

ArjoHuntleigh AB
Hans Michelsensgatan 10
211 20 Malmö, Sweden
www.arjo.com

CE
2797